



第78回 国民スポーツ大会 (ラグビーフットボール競技会)

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。



2024年10月6日(日)～10日(木)
SAGAサンライズパーク ボールフィールド

主催：公益財団法人日本スポーツ協会・文部科学省・佐賀県
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会・佐賀市

SAGA 2024

新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024 から、国体の愛称で親しまれてきた「国民体育大会」が「国民スポーツ大会」へ変わります。大会の名称が変わるはじまりの地に選ばれた佐賀県は、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指し、さまざまな取り組みにチャレンジします。

リアルアスリート・ピクトプロジェクト

新しい「国民」の「スポーツ」大会だから、みんなで作りたい。そんな思いを込めて制作したピクトグラム。すべて実在するアスリートのシルエットが元になっています。



国スポ 総合開会式

10 / 5 (土)

SAGAスタジアム

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



国スポ 総合閉会式

10 / 15 (火)

SAGAアリーナ

佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



(公財)日本スポーツ協会(JSPO)は、「スポーツは、もっとオモシロイ。」を掲げ、スポーツが誰にとってもオモシロくなり、幅広い世代でスポーツが身近にある社会の実現を目指す『JAPAN GAMES』構想を推進。JSPOと佐賀県は、連携・協働してスポーツの新たな価値を創造します。

大会HP詳しくはこちら

SAGA 2024



目 次

あいさつ	1
歓迎のことば	2
国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規程	4
国民スポーツ大会会長トロフィー授与規程	5
大会役員	6
競技会役員	9
競技役員	12
競技補助員	14
競技会係員・競技会補助員	14
総則	15
実施要項	34
式典次第	40
競技日程	41
競技組み合わせ表	42
参加監督・選手一覧	47
ブロック大会成績表	61
都道府県別（種別）参加人員一覧表	64
年次別成績一覧表	65
セブンズの見どころ（成年男子・女子7人制）	66
ラグビーフットボール競技の見どころ（少年男子15人制）	69
競技会場案内図・配置図	72
大会関係機関連絡先	79



公益財団法人日本スポーツ協会 会長 遠藤 利明

国の特別史跡に指定されている「吉野ヶ里遺跡」をはじめとする重要文化財や、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんち」などの伝統的行事が根付く、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会が開催されますことは、誠に喜ばしい限りであります。

スポーツを通じた明るく豊かな国づくりを目指して昭和21(1946)年からスタートした国民体育大会は、今日まで多くの関係者のたゆまぬ努力と情熱に支えられ、我が国最大のスポーツの祭典として発展を遂げ、本年から「国民スポーツ大会」へと名称を変え、新たなスタートを切ります。

今大会は、幅広い世代の人々が、スポーツが身近にある生活を体験出来る社会の実現を目指した「JAPANGAMES」の取組を本格化しすべての人に「スポーツの力」を届けることができる大会を目指しております。

スポーツを「する」人、「みる」人、「ささえる」人、すべての方々がスポーツのオモシロさを体現し、スポーツで日本を元気にする大会となることを願っております。

さて、国民スポーツ大会を巡っては、今後の在り方に関して様々なご意見が寄せられておりますが、より魅力ある持続可能な大会とするため、幅広い分野の皆様に参加いただいた有識者会議を設置しております。今後、検討を進めるに当たっては、今回の佐賀大会における「JAPAN GAMES」をはじめとする新たな取組の成果も充分活かしていきたいと考えております。

今大会は、当初から1年遅れての開催となりましたが、佐賀県の関係者の皆様をはじめ、開催を控えていた各県の皆様方のご協力なくしては実現できなかったものであり、改めてお礼申し上げます。

結びに、今大会の開催にあたり、長年諸準備にご尽力いただきました、地元佐賀県をはじめ関係の皆様方のご支援、ご協力に対し心から深く感謝申し上げます。



文部科学大臣 盛山 正仁

天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、ここ佐賀県において第78回国民スポーツ大会「SAGA2024国スポ」が盛大に開催されますことを、誠に喜ばしく存じます。

佐賀県は玄界灘、有明海という多くの恵みをもたらす2つの海に面し、広大な佐賀平野やラムサール条約湿地に登録された「東よか干潟」「肥前鹿島千湯」等豊かな自然の魅力にあふれ、国の特別史跡である「吉野ヶ里遺跡」や400年以上の歴史を誇る「有田焼」を有する等、歴史と文化が息づく県です。

昭和51年の若楠国体以来48年ぶりの佐賀県での開催となり、『新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。』をメインメッセージに、エンタメ性の高い式典、ナイトゲームの開催、スポーツホスピタリティ等、スポーツの可能性を迫る「新しい」取組に挑戦し、県全域を舞台に熱戦が繰り広げられます。

また、トップアスリートの育成を通じ、県民がスポーツを「する」「育てる」「観る」「支える」「稼ぐ」というスポーツ文化の裾野拡大を目指し、スポーツのチカラを生かした人づくり、地域づくりを進める「SAGAスポーツピラミッド構想」という「新しい」仕組みも広がっています。国民体育大会から国民スポーツ大会への名称変更後初めての開催にふさわしい、今後のモデルケースとなる魅力的ですばらしい取組となっております。

郷土の代表として参加される選手の皆さんが、これまで積み重ねてこられた練習の成果を思う存分発揮され、我が国の国際競技力の向上が図られるとともに、この機会に全国の仲間や佐賀県民の皆さんとの交流の輪を広げられ、思い出に残る大会となりますことを期待しております。本年はパリオリンピック・パラリンピック競技大会が開催され日本代表選手が大活躍し、国民のスポーツへの関心はますます高まっています。

文部科学省としましても、アスリートや子供たちの活動の機会を確保し、スポーツの持つ力やすばらしさが社会の活力につながるよう関係の皆様と一丸となって取組を進めてまいります。

結びに、「SAGA2024国スポ」の開催に当たり尽力いただいた地壳佐賀県、会場となる各市町をはじめとする関係の皆様方の御支援、御協力に対し、心から敬意と感謝の意を表しまして、御挨拶といたします。

令和6年7月29日



公益財団法人日本ラグビーフットボール協会 会長 土田 雅人

国民スポーツ大会「SAGA2024」ラグビーフットボール競技が、佐賀県にて盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。本大会におけるラグビー競技は、成年男子および女子は7人制（前半・後半各7分）、少年男子は15人制（前半・後半各30分）で試合を戦います。

全国の各ブロック大会予選を勝ち抜き、みごと本大会に出場される選手の皆さんにおかれましては、フェアプレーに徹し、日頃の鍛練の成果を存分に発揮されますことを期待しています。また各チームの健闘を祈り、グラウンド上での熱戦を楽しみにしております。

今年開催されたパリ2024オリンピックには、男女セブンズ日本代表がアジア代表として出場いたしました。昨年フランスで開催された「ラグビーワールドカップ2023」には男子15人制日本代表が出場し、来年イングランドで開催される「女子ラグビーワールドカップ2025」には15人制女子日本代表が出場いたします。当協会では、日本代表の活躍に向けた国際競技力向上のほか、世界で活躍するレフリーの育成、ラグビーのさらなる普及に努めております。今後とも、誰もが身近にラグビーをプレーできる環境を整備し、全国各地のラグビーファミリーと共に「ラグビーが、世界一身近にある国へ」と歩みを進め日本におけるスポーツ文化の振興に寄与してまいりたいと存じます。

最後に、本大会の開催にあたり準備にご尽力いただいた佐賀県、公益財団法人佐賀県スポーツ協会、佐賀県ラグビーフットボール協会、さらに試合会場である佐賀市の皆様をはじめとする関係各位のご支援とご協力に心より感謝申し上げます、私の挨拶とさせていただきます。

歓迎のことば



SAGA2024 実行委員会会長 佐賀県知事 山口 祥義

「すべての人に、スポーツのチカラを。」新しい大会へようこそ。

躍動する。魂が揺さぶられる。年齢や国境を超えて、人と人がつながる。心身ともに健やかになる。スポーツには、人間の根源的な喜びを生み出すチカラがあります。こうしたスポーツの真の価値を大切にする佐賀県では、「SAGAスポーツピラミッド (SSP) 構想」と

銘打ちアスリートの人生にコミットした人材育成、セカンドキャリア支援やスポーツビジネスの創出を進めてアスリートが現役時代も引退後もキャリアを活かして輝き続けることができる社会の実現を目指してきました。

その中で開催する「SAGA2024」は、スポーツ新時代を多くの方に実感できる大会として、日本に世界標準のスポーツ文化が根付く転機となると確信しています。

「SAGA2024」ラグビーフットボール競技会、いよいよスタートです。

ラグビーワールドカップ2019日本開催から5年が経ちますが、あの熱気を昨日のように思い出します。今回はSAGAサンライズパークボールフィールドが競技会場です。AIカメラを活用したライブ配信で競技の新しい楽しみ方が広がると嬉しく思います。

「SAGA2024」は”国体”から”国スポ”へと変わる大会です。

競技会では、選手個人にスポットを当てた表彰制度やメダルの授与、ナイトゲームや動画配信により選手の活躍を称え、熱戦をより多くの方に届けます。式典でも新たな演出に取り組みます。総合開会式の自由で楽しさあふれる選手団入場、音と光、映像を最大限に活かした総合閉会式など、大会に関わるすべての人と感動を分かち合います。

選手の皆様には、日々の練習に打ち込んできた情熱と、磨き上げてきた技を、この舞台上で披露していただければこれ以上の喜びはありません。

佐賀県は、「弥生時代の吉野ヶ里遺跡」、「日本文化が花開いた肥前名護屋城」、「明治維新の礎を築いた偉人の輩出」と三回にわたり日本史転換の舞台となりました。これは「挑戦なくして、伝統なし」の mindset がこの地で培われているからだと考えます。有田焼、佐賀牛、佐賀酒といった文化・食材が世界で高い評価を受けていることもその証です。スポーツの世界も例外ではありません。佐賀県は、先人達の積み重ねに想いを馳せながら、新たな挑戦を続けていきます。

スポーツ新時代の幕が上がる、その瞬間を一緒に体感できることを感しく思うとともに、開催にあたり、多大な御支援と御協力を賜りました関係者の皆様にご心から感謝を申し上げ、歓迎のことばといたします。



SAGA2024 佐賀市実行委員会会長 佐賀市長 坂井 英 隆

「SAGA2024」ラグビーフットボール競技会を、佐賀市で開催できますことを大変嬉しく思います。また、全国各地からお越しいただく選手・監督、関係者の皆様、ようこそ佐賀へ。佐賀市民を代表して心から歓迎いたします。

「SAGA2024」は、戦後78年続いた「国民体育大会」から「国民スポーツ大会」へと生まれ変わる最初の大会です。「体育」から「スポーツ」へと名称が変わるだけでなく、すべての人に、スポーツのチカラを感じていただけるよう、これまでの大会にはなかった新たな取り組みで皆様をお迎えます。

全競技を対象に実況を交えた動画配備を行うほか、サンライズパークに隣接する佐賀市文化会館を会場とする「全天候型おもてなし広場」では、本市開催競技やバーチャルスーツを体験できるコーナーを設けます。さらに、佐賀市民を挙げた「応援によるおもてなし」や、ナイトゲームの開催など、競技を「する」選手だけでなく、「みる」、「ささえる」の様々な形で参加いただく市民や来場者にとって、「スポーツの魅力」や「スポーツの力」を実感できる大会にしたいと思っています。

佐賀市には、日本を牽引してきた賢人たちの功績を今に伝える、世界遺産「三重津海軍所跡」や、「佐賀城本丸歴史館」などの歴史・文化遺産が多く残っています。また、食も豊かで、最長となる14年連続で「特A」評価を獲得しているブランド米「さがびより」をはじめ、ブランド牛の「佐賀牛」、有明海で育てられた芳醇な旨みの「佐賀海苔」、人気の日本酒など、全国的にも高い評価をいただいております。滞在中には、ぜひ、佐賀の多彩な魅力を体感いただければ幸いです。

本大会の開催に多大なるご支援、ご協力をいただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、ご参加の皆様のご活躍を心から祈念いたしまして、歓迎のことばといたします。



佐賀県ラグビーフットボール協会 会長 古賀 醸 治

国民体育大会が第78回国民スポーツ大会に名称変更されます。

「国民スポーツ大会」の最初の大会を佐賀県で開催できる事は、県民にとっても大きな喜びであります。

又、「国体」から「国スポ」に名称変更されるだけでなく多くの点で、今後の「国スポ」開催の参考にされる事も想定され、その責任の重さを痛感しながら試行錯誤の内にも準備し、今日を迎える事ができました。

全国各地の厳しい予選を勝ち抜いてきた、参加チームともラグビーの精神である「品位」「情熱」「結束」「規律」「尊重」を全員で共有し、心をひとつに一体感を持って試合に望んでもらえる事を希望致します。そして、佐賀県民こそ、できる限りの「おもてなしの心」で、皆様に歓迎、応援したいと思っています。

最後に競技を開催するにあたり、佐賀県、佐賀市、お手伝いいただきますボランティア、佐賀県ラグビーフットボール協会等、多くの関係者の、ご尽力、ご協力のお礼申し上げ、歓迎のことばと致します。



天皇杯

皇后杯

国民スポーツ大会天皇杯・皇后杯授与規定

第1条 天皇杯は、男女総合成績第1位の都道府県、皇后杯は、女子総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 天皇杯及び皇后杯は、総合閉会式に授与し、次回の総合開会式において返還する。

第3条 天皇杯又は皇后杯を授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 信託会社又は確実な金庫に保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 公益財団法人日本スポーツ協会が優勝都道府県名刻印のため又はその他の必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規定の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

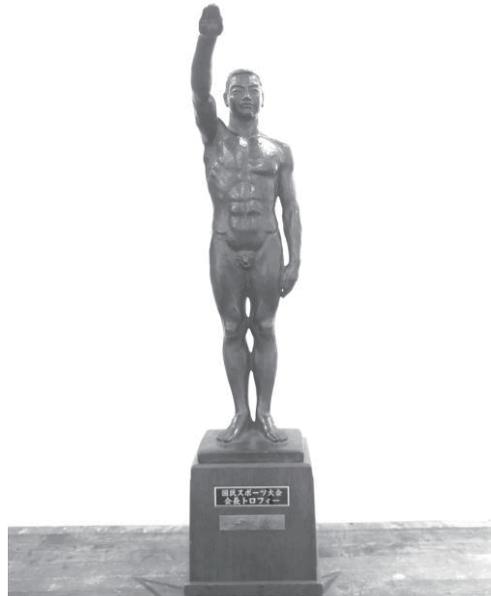
平成17年6月16日一部改定

平成22年3月17日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日(平成23年4月1日)から施行する。

平成30年4月1日一部改訂

令和6年1月1日一部改訂



大会会長トロフィー

国民スポーツ大会会長トロフィー授与規定

第1条 国民スポーツ大会開催基準要項第11項に基づき、国民スポーツ大会会長トロフィー（以下「大会会長トロフィー」という。）は、正式競技別男女総合成績第1位の都道府県に授与する。

2 第1位が2都道府県以上の場合は、当該都道府県で共有する。

第2条 大会会長トロフィーは、競技会表彰式に授与し、次回競技会において返還する。

第3条 大会会長トロフィーを授与された都道府県は、次の各項の義務を有する。

- (1) 責任をもって保管する。
- (2) 破損、紛失等の場合は、当該都道府県の責任とする。
- (3) 優勝の刻印を次回大会までに行うものとする。ただし、第1条第2項の場合は、当該都道府県で協議して決めるものとする。
- (4) 公益財団法人日本スポーツ協会が必要により一時返還を求めた場合は、これに応じなければならない。

第4条 本規程の改廃は、国民スポーツ大会委員会の決議を経て行う。

附 則 本規程は、昭和41年4月1日制定

昭和45年1月22日一部改定

昭和48年7月10日一部改定

昭和54年5月9日一部改定

平成17年6月16日一部改定

本規程は、公益財団法人日本体育協会の設立の登記の日（平成23年4月1日）から施行する。

平成30年4月1日一部改定

令和6年1月1日一部改定



彦地泰子 文室一郎 夫正 智司 士裕 世剛 章次 男政 郎志 親平 一幸 樹子 和一 紀樹 幸雄 隆介 美宏 聖之子 人
 和大 和裕 恭玄 喜達 安清 元英 秀明 昭嗣 誠豪 和雄 伸茂 輝裕 秀圭 貴祐 克寿 裕豊 幸信 玲英
 野木 須屋丸 丸田 老野 木村 野角 野村 野岡 部山 田下 上守 崎瀬 中村 川口 谷田 里盛 瀬松 田島 里島
 矢鈴 三三 金千 松福 不清 柏北大 花高 大牧 林村 服春 岩山 井留 藤一 田中 弘坂 八原 南飯 岩吉 吉大 南牛
 夫貢 一志 治也 滿一郎 英生子 司浩 治二 俊平 英男 直博 磨雄 展克 孝一 樹範 文行 夫浩 二彦 興亮 博郎 典治
 章東 直良 正誠 幸光 裕美 祐伸 達多 隆周 知岩 益一 資律 弘清 正幸 清重 敏秀 和裕 清時 昭耕 正義
 原縣 田岡 田井 匠城 川村 藤田 本谷 脇本 田塚 生口 岡田 口保 光本 田山口 井賀 合盛 野田 重田 田竹
 藤尾 坂藤 砂河 村丸 番岩 荒吉 遠岡 杉中西 岸苺 大麻 原福 奥山 西久 德中 富指 岡土 石古 落飯 愛野 廣園 志大
 夫真 郎一 弘二 豊人 堯薰 信司 一博 浩隆 典也 昌實 博一 康美 一子 文三一 盛人 郎恭 一生 子也 博道 郎正 孝
 伸成 健俊 益光 雅勝 有富 義英 誠孝 隆二 直健 住奉 陽雄 幸勝 太正 真一 雅順 芳敬 英和
 江門 西合 場道 宅田 川川 藤田 田本 口本 田宗 田斐 城川 斐島 杉原 賀村 井田 丸田 原松 藤村 内田 寄田
 安寺 山川 馬安 三土 笹北 加鶴 福山 馳田 河池 越楨 甲玉 古甲 田大 木古 木酒 野石 池宮 定加 長陣 竹峰 川松
 子明 三信 明子 一宏 成子 之也 彦人 朗一 光彦 也市 吾一 志博 次健 美紀 功介 寛子 一郎 紀郷 敬薰 裕明 人敏 雄
 顯正 幸貞 英聖 真忠 弘素 良拓 和俊 八守 弘元 達慎 賢康 博芳 秀明 善一 祐利 卓裕 秀清 康光 直幸
 田條 嶋田 山本 村代 耕保 井增 川谷 田部 井藤 山内 石田 串場 口場 藤口 木崎 田村 木川 倉田 木次 草村 保川
 本西 田内 富橋 中網 世久 石達 大熊 新阿 向齋 丸柿 大塩 大江 里橋 武江 青桃 下猪 藤古 石牟 荒末 深中 西久 平

参

与



競技会役員

(順不同・敬称略)

名誉会長	坂井英隆							
会長	土田雅人							
副会長	木下康司	水越豊	清宮克幸	浅見敬子				
	林正博	古賀醸治	鶴光久					
顧問	津軽敦志	大矢保	白根敬介	千葉貞男				
	三浦廣己	遠藤康彦	佐々木彰	幡谷定俊				
	吉羽茂	関根正志	小林哲也	瀧田敏幸				
	海老原洋一	角田誠	中谷真一	佐々木祥二				
	寺尾政宏	寺崎聡	紐野義昭	藤尾秀樹				
	柳弘之	高岡義伸	鈴木英敬	田代正美				
	大岡敏孝	橋本光夫	天野寛之	田中康憲				
	土佐敏太郎	瀬越正敬	川部洋	原拓也				
	柴田和正	小川司徳	中村龍夫	磯崎仁彦				
	小林信行	赤松民康	中谷元	荒木英二				
	衛藤正雄	一ノ宮博幸	河津龍治	石田喜克				
	渡辺丈	宮城博	山口弘展	丹宗成一				
参与	松永幹哉	中島妙子	藤田佳典	江口善己				
	諸富八千代	稲葉嵩広	川崎健二	御厨洋行				
	西岡真一	江原新子	富永明美	久米勝也				
	中村宏志	村岡卓	松永憲明	山田誠一郎				
	実松尊信	永渕史孝	宮崎健	川副龍之介				
	重松徹	平原嘉徳	江頭弘美	千綿正明				



	堤 正之	福井 章司	河原田 裕明	重田 音彦
	中野 茂康	野中 宣明	黒田 利人	山下 明子
	嘉村 弘和	西岡 義広	堤 和義	撫尾 知信
	鳥飼 亜由美	長崎 美聡	山田 久三	池田 一善
	鈴木 宏一郎	坂井 元	武富 将志	古賀 伸輔
	川副 光行	稲又 宏之	江頭 聖司	宮崎 圭子
	片渕 明子	森 留美子	大久保 雅人	筒井 竜二
	大松 明浩	大串 賢一	姉川 久	寺田 千景
	吉次 司	関 正毅	大中 陽一	大澤 和也
	本村 哲也	北村 一豊	香川 文孝	三島 安夫
	山田 邦雄	井崎 裕文	陣内 芳博	末次 康裕
	高木 辰巳	本村 正信	松尾 正一郎	竹尾 啓助
	池上 寿伸	坂井 欣吾	中野 武志	小形 健二
	八谷 克幸	留守 茂幸	山下 雄平	坂本 昭一
	松尾 真也	永瀬 一裕	野田 亮	吉松 幸宏
	堤 孝二	廣重 昭博	原 敏朗	吉原 正博
	東島 伸氏	宇都宮 圭	齋藤 秀子	小城 原直
	牛島 英人	谷 政司	吉田 彰友	愛野 時興
	阿部 俊浩	小城 博	原田 寿雄	
委 員 長	岩 渕 健輔			
副 委 員 長	久 富 和彦	井 口 浩樹	尾 形 孝則	
委 員	Mark Egan	石 原 直子	江 田 麻季子	香 川 あかね
	御 領 園 昭彦	齋 木 尚子	境 田 正樹	座 間 美都子
	鈴 木 彰	玉 塚 元一	中 村 明彦	浜 本 剛志



松原忠利	三好美紀子	安田結子	山神孝志
田口一也	富吉信行	原田千佳志	枝吉巨樹
仁位岳寛	古賀善充	徳島恒雄	中村浩二
山浦章雄	木原信彦	東嶋亮司	伊藤正光
堤明英	江口正一郎	大石隆聖	内田国博
福森則男	南里実	遠藤慶明	白木誠
真崎武浩	打谷桂子		



競技役員

(順不同・敬称略)

名誉会長	坂井 英隆								
会長	土田 雅人								
副会長	木下 康司	水越 豊	清宮 克幸	浅見 敬子					
顧問	古賀 醸治								
	津軽 敦志	大矢 保	白根 敬介	千葉 貞男					
	三浦 廣巳	遠藤 靖彦	佐々木 彰	幡谷 定俊					
	吉羽 茂	関根 正志	小林 哲也	瀧田 敏幸					
	海老原 洋一	角田 誠	中谷 真一	佐々木 祥二					
	寺尾 政宏	寺崎 聡	紐野 義昭	藤尾 秀樹					
	柳 弘之	高岡 義伸	鈴木 英敬	田代 正美					
	大岡 敏孝	橋本 光夫	天野 寛之	田中 康憲					
	土佐 敏太郎	瀬越 正敬	川部 洋	原 拓也					
	柴田 和正	小川 司徳	中村 龍夫	磯崎 仁彦					
	小林 信行	赤松 民康	中谷 元	荒木 英二					
	衛藤 正雄	一ノ宮 博幸	河津 龍治	石田 喜克					
	渡辺 丈	宮城 博							
参事	小城 博	原田 寿雄							
委員	岩渕 健輔								
副委員	尾形 孝則								
委員	Mark Egan	石原 直子	江田 麻季子	香川 あかね					
	御領園 昭彦	斎木 尚子	境田 正樹	座間 美都子					
	鈴木 彰	玉塚 元一	中村 明彦	浜本 剛志					
	松原 忠利	三好美 紀子	安田 結子	山神 孝志					
	田口 一也	富吉 信行	原田 千佳志	枝吉 巨樹					
	仁位 岳寛	古賀 善充	徳島 恒雄	中村 浩二					
	山浦 章雄	木原 信彦	東嶋 亮司	伊藤 正光					
	堤 明英	江口 正一郎	大石 隆聖	内田 国博					
	福森 則男	南 里 実	遠藤 慶明	白木 誠					

総務委員長	古賀 醸 治			
総務副委員長	久木元孝行	松原 忠利	小城 博	原田 寿雄
総務委員	田口 一也	富吉 信行	原田千佳志	山口 信哉
	高尾 和範	杉町 智直	諸石 雅人	伊東 直樹
	小石 修平	橋本 諭	久保 拓也	田中 誠三
	山本 真暉	小川 和紀	中野 雄一	中拾石 智
	枝吉 巨樹	仁位 岳寛		
規律委員長	海老原洋一			
規律副委員長	大原 俊一	御領園昭彦	中村 浩二	
規律委員	高野敬一郎	牟田口亨司		
審判委員長	久保 修平			
審判副委員長	大槻 卓	石本 月洋	古賀 善充	
審判委員	平川 哲也	手束 伊吹	池田 韻	山内 昂輝
	吉野 滉平	稲場 義史	吉原 崇宏	濱田 修平
	阿部 智大	濱田 巧	廣瀬 大河	前田 樹
	藤本 舞香	田代智香子	羽白 卓馬	山浦 宗一郎
	内山 京美	宮原 卓也	大隅 篤己	中村 岳博
	朝長 和大	徳島 恒雄	山浦 章雄	木原 信彦
	東嶋 亮司	向井 晃	小田 聖二	永山 友博
	大坪 浩昭	徳永 元紀	永松 沙哉	名和 享祐
	西山 和希	鳥井元翔多	栗下 翔磨	伊藤 正光
	堤 明英	前田 恵美	大塚 勉	浦川 宗久
	江越 慎也	横尾 直樹	川瀬 文明	西村 剛
	大坪 竜太	小林 良輔	中園 哲雄	唐津 昌宏
	内野 直樹	加藤 圭祐	廣瀧 紀美	山崎 崇
	山領 大介	岩崎 俊次	鶴 浩司	常安 和雄
	堺 正仁	住吉 政宏	家近賀 壽夫	
総合成績計算委員長	岸川 剛之			
総合成績計算副委員長	江口正一郎			
総合成績計算委員	光富 義仁	山本 龍二		
競技委員長	尾形 孝則			
競技副委員長	緋田 政人			



競 技 委 員	石 井 泰 三	宮 崎 和 哉	新 井 公 希	天 野 寛 之
	山 口 優	宮 本 和 則	大 石 隆 聖	小 松 康 典
	夏 秋 賢 司	小 柳 優 真		
記 録 報 道 主 任	内 田 国 博			
記 録 報 道 副 主 任	西 原 宏			
記 録 報 道 委 員	福 森 則 男	山 下 正 弘	中 山 晋 哉	矢 次 一 男
	櫟 村 哲 也	大 澤 拓 海	原 岡 秀 光	岩 永 直 樹
	光 岡 由 美 子	大 野 嘉 人	古 賀 晋	宮 田 伸 一 郎
	境 明 展	江 頭 寿 人	山 本 龍 二	長 崎 亮 博
	牟 田 佳 弘	野 田 浩 輝	古 賀 俊 次	土 井 將 嗣
	松 信 晃 志	古 賀 伸 也	重 富 俊 彦	秋 吉 佑 亮
	河 原 草 太	北 村 浩 晃	有 森 秀 一 朗	中 野 善 隆
	徳 永 貞 康	秦 正 雄	谷 河 一 郎	山 田 航 平
	岡 部 直 道	伊 藤 さ く ら	藤 万 佐 也	三 根 大 樹
	竹 下 貴 大	西 尾 基	石 橋 節 二	一 ノ 瀬 健
	宮 島 賢 介	片 山 浩 二	宮 木 暢 久	立 野 愛 果
放 送 主 任	末 次 毅	水 町 大 介		
コ ー ト 主 任	南 里 実	山 下 昂 大		
救 護 主 任	遠 藤 慶 明	白 木 誠		
救 護 委 員	今 村 昭 子	浦 田 良 子		
救 護 委 員 (医 師)	本 多 弘 一	野 口 慶	白 木 誠	福 田 雄 高
	平 田 寛 人	菊 池 仁	北 村 浩 晃	音 琴 哲 也
	塚 本 正 紹	竹 内 靖 治		

競 技 補 助 員

佐賀県立佐賀工業高等学校

佐賀県立鳥栖工業高等学校

学校法人大隈記念早稲田佐賀学園早稲田佐賀中学校・高等学校

学校法人永原学園西九州大学

競 技 会 係 員

佐賀市実施本部職員一同

競 技 会 補 助 員

佐賀市競技会運営ボランティア一同

総 則

開催の趣旨

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにしようとする国内最大のスポーツの祭典である。

佐賀県で開催する第78回国民スポーツ大会「SAGA2024」は「新しい大会へ。すべての人に、スポーツのチカラを。」をメインメッセージに掲げ、「する」「観る」「支える」の視点から、選手も、選手でない人も参加できる大会、エンターテインメント性の高い大会、みんなで力を合わせ、つくる大会をコンセプトに、体育からスポーツに変わる、今だからこそ、すべての人にスポーツのチカラを届ける新しい大会を目指して開催する。

実施方針

1 実施競技

(1) 正式競技 (37 競技)

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、クレ射撃、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 公開競技 (7 競技)

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(3) デモンストレーションスポーツ (28 競技)

合気道、アジャタ、いごてだま、ウォーキング、草スキー、クッブ、皿かぶり競走、さわやかグラウンド・ゴルフ、3B体操、室内ペタンク、シャッフルボード、スカットボール、スケートボード、スポGOMI、スポーツウエルネス吹矢、スポーツチャンバラ、ソフトバレーボール、滝登り、チャレンジ・ザ・ゲーム、パークゴルフ、バグジー、ビリヤード、フライングディスク、マリンスポーツ、ユニカール、ラージボール卓球、ラダーゲッター、ロープ・ジャンプ・X

(4) 特別競技 (1 競技)

高等学校野球



2 会期及び会場地

(1) 正式競技・特別競技（13市、11町：計24市町）

会 期	会 場 地
2024年10月5日（土） ～10月15日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、玄海町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町、大分県日田市、兵庫県三木市
2024年9月5日（木） ～9月17日（火） 〔13日間〕	佐賀市、伊万里市、鹿児島県湧水町 ※ 水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレー）、体操（体操競技、トランポリン）、カヌー（SL・WW） 競技会は上記会場地で実施
2024年9月21日（土） ～10月1日（火） 〔11日間〕	佐賀市、唐津市、鳥栖市、神崎市、大分県由布市 ※ サッカー、テニス、体操（新体操）、セーリング、ソフトテニス、ライフル射撃、剣道、クレール射撃競技会は上記会場地で実施

(2) 公開競技（6市、1町：計7市町）

会 期	会 場 地
2024年8月24日（土） ～9月22日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、基山町

(3) デモンストレーションスポーツ（7市、8町：計15市町）

会 期	会 場 地
2024年4月21日（日） ～10月13日（日）	佐賀市、唐津市、鳥栖市、武雄市、鹿島市、嬉野市、神崎市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、有田町、大町町、江北町、白石町、太良町

(4) 文化プログラム

文化プログラムの実施については、「文化プログラム実施基準」に基づき、2024年4月1日から2024年12月31日までの期間で、原則として、県内市町で開催する。

3 競技方法

各競技別実施要項に示す方法とし、正式競技は都道府県対抗で実施する。

4 ドーピング検査の実施

大会におけるアンチ・ドーピング活動（ドーピング検査及びアンチ・ドーピング教育活動）は、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構が定める「日本アンチ・ドーピング規程」及び別に定める「国民スポーツ大会アンチ・ドーピング活動に関するガイドライン」に基づき実施する。

なお、治療の目的で禁止物質・禁止方法を用いる必要がある場合は、事前に「治療使用特例（TUE）」の手続きを行うこと。

各都道府県の代表選手は、大会期間中は常に「国民スポーツ大会ドーピング検査同意書」を所持しなければならない。選手が18歳未満の場合、本人の署名及び親権者の署名がある同意書を所持すること。



5 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

選手及び監督の参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準は、次のとおりとする。

なお、参加資格については、「第78回国民スポーツ大会参加資格、所属都道府県及び年齢基準等の解釈・説明」を併せて確認すること。

【 公益財団法人日本スポーツ協会ホームページ <http://www.japan-sports.or.jp/> 】

(1) 参加資格

ア 日本国籍を有する者であることとするが、選手及び監督のうち、次の者については、日本国籍を有しない者であっても、大会に参加することができる。

(ア) 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち「永住者」（「日本国との平和条約に基づき日本の国籍を離脱した者等の出入国管理に関する特例法」に定める「特別永住者」を含む。）

(イ) 少年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍する学生又は生徒で、「8 参加申込方法」で定めた参加申込締切時に1年以上在籍していること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、「留学」、「家族滞在」又は「定住者」に該当していること。

(ウ) 成年種別年齢域に該当し、次の要件をいずれも満たす者

a 少年種別年齢域にあった時点において前号(イ)に該当していた者であること。

b 「出入国管理及び難民認定法」に定める在留資格のうち、大会参加時から終了時まで「留学」に該当しないこと。

〔注〕 上記(ウ)bについて、大学及び専修学校等に在籍する成年種別の年齢域に該当する者は、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」以外の在留資格を有する場合も「留学」と同等に扱う。

イ 選手及び監督は、所属都道府県の当該競技団体会長（代表者）と体育・スポーツ協会会長（代表者）が代表として認め、選抜した者であること。

ウ 第77回又は2023年開催の特別大会（都道府県大会及びブロック大会を含む）において選手又は監督として参加した者は、次の場合を除き、第77回又は2023年開催の特別大会と異なる都道府県から参加することはできない。

(ア) 成年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者

b 結婚又は離婚に係る者

〔注〕 a及びbは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。

c ふるさと選手制度を活用する者（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

〔注〕 別記3「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

d 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

e 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

(イ) 少年種別

a 「学校教育法」第1条に規定する学校を卒業した者



- b 結婚又は離婚に係る者
- c 一家転住に係る者（別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」による。）
[注] aからcは当該要件発生後、初めて参加するものに限る。
- d JOCエリートアカデミーに在籍する者（別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」による。）
- e 東日本大震災に係る参加資格特例措置を活用する者（別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）
- f 能登半島地震に係る参加資格特別措置を活用する者（別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」による。）

エ 選手と監督の兼任は、同一種別内に限る。

オ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、冬季大会及び本大会にそれぞれ1競技に限り参加できる。

カ 選手及び監督は、回数を同じくする大会において、異なる都道府県から参加することはできない。

キ 選手、監督並びに本部役員帯同のスポーツドクター及びアスレティックトレーナーは、大会参加前の1年以内に公益財団法人日本スポーツ協会（以下「日本スポーツ協会」という。）が指定するアンチ・ドーピング教育を受講し、「国スポ本戦出場前のアンチ・ドーピング教育履歴」に記載した者であること。

ク 上記のほか、選手については次のとおりとする。

- (ア) 都道府県大会及びブロック大会に参加し、これを通過した者であること。
- (イ) 健康診断を受け、競技会への参加に支障がない者であること。
- (ウ) ドーピング検査対象に選定された場合は、検査を受けなければならない。

ケ 上記のほか、監督については日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、監督が不在の場合選手は参加することができない。各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

(2) 所属都道府県

所属都道府県は、当該競技団体が限定する場合を除き、次のいずれかが属する都道府県から選択することができる。

ア 成年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 勤務地
- (ウ) ふるさと（別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」による。）

[注] 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」の適用を受け、ふるさと選手として参加する者を含む。

イ 少年種別

- (ア) 居住地を示す現住所
- (イ) 「学校教育法」第1条に規定する学校の所在地（以下「学校所在地」という。）
- (ウ) 勤務地
- (エ) 別記3「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」に定める小学校の所在地

※ 「居住地を示す現住所」、「勤務地」、「学校所在地」のいずれかから参加する場合は、2024年4月30日以前から本大会終了時（2024年10月15日）まで、引き続き当該地に、それぞ

れ居住、勤務、又は通学していなければならない。ただし、次の者はこの限りではない。

[成年種別]

- a 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- b 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

[少年種別]

- a 別記2「『一家転住等』に伴う特例措置」の適用を受ける者
- b 別記4「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- c 別記5「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者
- d 別記6「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」の適用を受ける者

(3) 選手の年齢基準

ア 選手の年齢基準については、下記を原則とする。

(ア) 成年種別に参加する者は、2006年4月1日以前に生まれた者とする。

(イ) 少年種別に参加する者は、2006年4月2日から2009年4月1日までに生まれた者とする。

(ウ) 年齢を区分している種別へ参加する者の年齢計算は、2024年4月1日を基準とする。

イ 日本スポーツ協会が特に認める場合は、上記アにかかわらず、競技ごとに年齢区分を設定することができる。ただし、年齢の下限は中学3年生（2009年4月2日から2010年4月1日までに生まれた者）とする。

(4) 前記の各事項に疑義のあるときは、日本スポーツ協会及び当該競技団体が調査・審議のうえ、日本スポーツ協会がその可否を決定する。

6 各正式競技の総合成績決定方法

各正式競技の総合成績決定方法は次のとおりとする。

(1) 次のア、イの得点を合計したものを男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）とする。

ア 競技得点

競技得点は、各種別、種目などの第1位から第8位までの都道府県に与え、次のとおりとする。ただし、同順位の場合は、次の順位のものを加え、当該都道府県で等分し、割り切れない場合は、小数第3位以下を切り捨てる。

		1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
種別	4人以下	24点	21点	18点	15点	12点	9点	6点	3点
	5人以上7人以下	40点	35点	30点	25点	20点	15点	10点	5点
	8人以上	64点	56点	48点	40点	32点	24点	16点	8点
種目	—————	8点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点



[注] 「種別」：種別などに与える競技得点 「種目」：種目などに与える競技得点

イ 参加得点

参加得点は10点とし、大会（ブロック大会を含む。）に参加した都道府県に与える。

ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

(2) 各競技の総合成績は、当該競技団体が決定する。

ただし、天候その他の事情により一部競技が中止になった場合は、当該競技団体と大会総務委員会が協議する。

(3) 参加資格違反等に関わる得点等の取り扱いについては、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程」によるものとする。

7 表彰

(1) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に天皇杯を、同じく女子総合成績第1位の都道府県に皇后杯をそれぞれ授与する。

(2) 冬季大会及び本大会で実施した全正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(3) 各正式競技の男女総合成績第1位の都道府県に、国民スポーツ大会会長トロフィーを授与する。

(4) 各正式競技の男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、それぞれ表彰状を授与する。

(5) 各競技の各種別及び各種目などの第1位から第8位までに賞状を授与する。団体競技の場合は、その都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものを都道府県用に1枚、更にその都道府県名と個人名を記載したもの、又は都道府県名とチーム全員（監督を含む）の氏名を記載したものをチーム全員に授与する。

8 参加申込方法

(1) 参加申込

都道府県体育・スポーツ協会会長（代表者）及び競技団体会長（代表者）は、連署の上、都道府県大会又はブロック大会において選抜された者及び公益財団法人日本高等学校野球連盟が選出したチームを、大会会長宛に申込みものとする。

(2) 参加申込締切

参加申込は、定められた締切日までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。なお各競技別実施要項の「参加申込み方法」を併せて確認すること。

(3) 参加申込締切日

締 切 日	競 技
2024年 8月15日(木) 【5競技】	水泳、ローイング、バレーボール（ビーチバレーボール）、体操、カヌー
2024年 8月28日(水) 【12競技】	サッカー、レスリング、セーリング、自転車、ソフトテニス、相撲、ライフル射撃、剣道、クレー射撃、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン



2024 年 9月4日(水) 【22 競技】	陸上競技、テニス、ホッケー、バレーボール(6人制)、バスケットボール、ウエイトリフティング、ハンドボール、卓球、軟式野球、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、パドミントン、弓道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、高等学校野球
------------------------------	---

(4) 参加申込様式

参加申込様式は、日本スポーツ協会が実施競技団体と協議の上、作成する。

(5) 公開競技の参加申込

公開競技については、別途当該中央競技団体が定める所定の手続きにより行う。

(6) 選手の交代

参加申込締切後の選手の交代は、特別な事情がない限り認めない。特別な事情で選手を交代する場合は、所定の様式、方法により次のア～ウ宛に届け出なければならない。

ア 全国を統轄する各中央競技団体事務局

イ SAGA2024実行委員会事務局

ウ SAGA2024各競技会場地市町実行委員会事務局

なお、日本スポーツ協会に対しては、大会終了後、所定の手続きにより参加申込情報を修正すること。

9 棄権手続

参加申込締切後から競技初戦までの間において、特別な事情で選手が競技会を棄権する場合には、所定の棄権手続きをとらなければならない。

なお、棄権手続きに係る届出については選手交代届と同じ様式を用いること。

10 大会参加負担金

(1) 大会に参加選手団(視察員を除く)を派遣する都道府県体育・スポーツ協会は、大会参加負担金を納入する。一人当たりの大会参加負担金の額は下記のとおりとする。

区 分	負 担 金
少年の種別に参加する選手	3,000円
上記以外の者(本部役員、監督、成年の種別に参加する選手等)	6,000円

[注] 地震、風水害、感染症およびその他主催者の責によらない事由により大会を中止した場合、大会参加負担金の返金を行わない。

(2) 大会参加負担金は、都道府県体育・スポーツ協会でき取りまとめ、次のとおり納入する。

ア 納入期限 2024年9月5日(木)

イ 納入先 みずほ銀行 渋谷支店 普通預金口座 513729
 公益財団法人日本スポーツ協会

11 宿泊申込

大会参加者は、SAGA2024実行委員会が指定した所定の様式により、定められた締切日までに申込み。



12 都道府県選手団本部役員編成

- (1) 都道府県選手団本部役員は、次のとおりとする。
 - ア 参加選手 500 名以上の場合、团长、総監督及び総務ほか、計 20 名以内とする。
 - イ 参加選手 300 名以上 500 名未満の場合、团长、総監督及び総務ほか、計 15 名以内とする。
 - ウ 参加選手 300 名未満の場合、团长、総監督及び総務ほか、計 10 名以内とする。
- (2) 上記役員のほか、5 名以内の顧問を設けることができる。
- (3) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、スポーツドクターを帯同するものとする。なお、帯同するスポーツドクターは日本スポーツ協会公認スポーツドクター資格を有する者とする。
- (4) 上記(1)及び(2)による本部役員総数の範囲内で、原則としてアスレティックトレーナーを帯同するものとする。

なお、帯同するアスレティックトレーナーは日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー資格を有する者とする。
- (5) 都道府県選手団本部役員の 1 日あたりの編成人数については、上記(1)及び(2)による人数を上限とする。
- (6) 都道府県選手団本部役員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

13 視察員

- (1) 視察員は、1 都道府県 3 名以内とする。ただし、2025 年以降の国民スポーツ大会の開催が決定又は内定している県については、滋賀県 100 名以内、青森県及び宮崎県 60 名以内、長野県及び群馬県 40 名以内とする。
- (2) 都道府県の視察員の参加申込は、2024 年 9 月 4 日（水）までに国民スポーツ大会参加申込システムにより行う。

14 大会参加章、記念章及び AD カードの交付

大会参加章、記念章及び AD カードは、次の者に交付する。

- (1) 大会参加章
都道府県選手団本部役員、監督及び選手並びに大会役員、競技会役員及び競技団体が指定した競技役員
- (2) 記念章
公開競技・デモンストレーションスポーツ参加者
※ 公開競技参加者への交付は、中央競技団体との協議による。
- (3) AD カード
都道府県選手団、公開競技に参加する選手・監督及び役員、大会役員・競技会役員及び競技団体が指定した競技役員、大会主催者及び競技会主催者が認めた者には AD カード (Accreditation Card) を交付する。

15 参加上の注意

- (1) 大会期間中は、交付された AD カードを携帯しなければならない。
- (2) 各都道府県の代表選手は、競技に際し、「国民スポーツ大会ユニフォーム規程」に基づき、ユ

ニフォームを着用しなければならない。

16 個人情報及び肖像権に関わる取り扱い

日本スポーツ協会、SAGA2024実行委員会、SAGA2024各競技会場地市町実行委員会及び国民スポーツ大会実施競技中央競技団体（以下「国スポ関係機関・団体」という。）は、参加申込等を通じて取得する個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおり対応するものとする。

(1) 個人情報の取り扱い

ア 利用目的

大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された個人情報は、国スポ関係機関・団体において、参加資格の確認や競技組合せなどをはじめとする大会運営業務のために利用し、目的以外に利用しない。

イ 公表の範囲と方法

個人情報のうち、所属都道府県、氏名、性別、年齢、学校名、チーム名等、所属と個人を識別するために必要な情報については、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) 総合プログラム及び競技別プログラムへの掲載
- (イ) 競技会場内におけるアナウンス等による紹介
- (ウ) 競技会場内外の掲示板等への掲載
- (エ) 大会関連ホームページへの掲載
- (オ) 報道機関への提供

ウ 競技結果（記録）等

競技結果（記録）については、上記イで定めた個人情報とともに、以下の方法等により公表することがある。

- (ア) SAGA2024実行委員会が設置する記録本部を通じた公開
- (イ) 国スポ関係機関・団体及び報道機関等による新聞・雑誌及び関連ホームページ等への掲載
- (ウ) 国スポ関係機関・団体が作成する大会報告書等への掲載
- (エ) 次回以降の大会プログラムへの掲載【新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等】

(2) 肖像権に関する取り扱い

ア 写真

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがある。

イ 写真（写真撮影企業等）

国スポ関係機関・団体に認められた写真撮影企業等によって撮影された写真等が販売されることがある。

なお、各競技・会場における販売の有無等の詳細は、当該中央競技団体を中心に対応する。

ウ 映像

国スポ関係機関・団体又はこれらに認められた報道機関等によって撮影された映像が、中継・録画放映及びインターネットによって配信されることがある。また、DVD等に編集され、販売・配付されることがある。

(3) 対応

ア 承諾の確認



大会参加申込として国民スポーツ大会参加申込システムへ登録された時点で、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

なお、各競技会における取り扱いに伴い、別途、当該中央競技団体等によって個別に承諾を確認することがある。

イ 役員等

大会役員、競技役員、運営役員、その他各種委員や補助員、国スポ関係機関・団体と大会に関する契約をしている者及び大会運営関係者については、上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。

17 都道府県大会及びブロック大会

正式競技については、本大会の予選として次のとおり都道府県大会（ブロック大会）を開催しなければならない。

- (1) 都道府県の主催団体は、必要に応じて日本スポーツ協会及び中央競技団体等関係団体と協議の上、本要項に基づき実施要項を作成する。

なお、日本スポーツ協会及び中央競技団体は、その内容に不備がある場合、適宜指導を行うものとする。

- (2) 都道府県大会の実施にあたり、当該都道府県主催団体は、適正な手続きに則り決定した代表選手の選抜方法・選考基準について、予め関係者に周知徹底を図るものとする。

- (3) 参加者は、実施要項に基づき当該主催団体に申込み。

なお、参加は1人1競技に限る。

- (4) ブロック大会の申込みは、原則として国民スポーツ大会参加申込システムにより行い、様式は日本スポーツ協会及び当該主催団体が協議の上、作成する。

なお、参加申込システムを使用しない場合の様式については、当該主催団体において別途作成する。

- (5) 都道府県大会の参加申込様式は、当該主催団体において作成する。

- (6) 参加料を徴収する場合の金額は、当該主催団体が中央競技団体と協議の上、定める。

- (7) 競技運営に差し支えない限り、佐賀県選手は当該競技ブロック大会を経ることなく本大会に参加することができる。

18 国民スポーツ大会参加者傷害補償制度

日本スポーツ協会及び都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者に対する社会的責任体制を整えるとともに、大会参加者の相互扶助の精神に基づいた補償制度として大会参加者による国民スポーツ大会参加者傷害補償制度を運営する。

- (1) 本制度の対象となる参加者は、ブロック大会及び本大会に参加する本制度給付規定に定められた選手、監督、選手団本部役員（顧問を含む）、視察員並びにその他選手団役員とする。

- (2) 大会参加の都道府県体育・スポーツ協会は、国民スポーツ大会参加者傷害補償制度の対象となる参加者数に応じた制度負担金（一人あたり1,000円）を、日本スポーツ協会に納入する。

- (3) 納入締切日及び納入先については、別途日本スポーツ協会から都道府県体育・スポーツ協会へ通知する。

19 SAGA 2024の取り組み

- (1) 選手の活躍にスポットを当てた表彰



選手の活躍は、観る人、支える人などにとって「感動する。魂が揺さぶられる」など「スポーツのチカラ」を多くの方に届けることができる。それぞれの選手の活躍にスポットを当てた「称える・伝える」表彰制度を創設し、表彰する。

(2) 観戦機会の拡大

「すべての人に、スポーツのチカラを。」の実現に向け、全国で大会の観戦・応援ができる環境づくりとしてインターネットを活用した正式競技の動画配信に取り組む。また、「一人でも多くの方に会場で観戦・応援を楽しんでほしい。」という思いから、夕方以降の試合が可能な一部の競技においてナイトゲーム開催に取り組む。

(3) 健康づくりの推進

健康増進法（平成14年法律第103号）の趣旨に鑑み、開・閉会式会場及び競技会場を原則禁煙とする。また、望まない受動喫煙を生じさせることがないように、大会参加者は、会場周辺の道路や駅、一般の店舗等における受動喫煙防止についても十分な配慮すること。

20 その他

- (1) 参加申込及び宿泊申込が、定められた締切日までに行われない場合、又は、参加負担金が定められた納入期限までに納入されない場合は、本大会への参加を認めない。
- (2) 大会運営にあたり、選手・観客・大会関係者への安全を最優先に配慮し、気象状況・感染状況・交通状況・テロ行為等の各種災害に伴い、安全確保が見込めないと主催者が判断した場合は、主催者の指示に従うものとする。また、安全確保のために、参加申込システムに登録された以外の個人情報を取得する場合がある。取得した情報については、目的以外に利用しない。
- (3) その他の事項については、国民スポーツ大会開催基準要項及び同細則による。



別記1 「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」

- 1 成年種別年齢域の選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕に基づき、下記のいずれかを拠点とした都道府県から参加することができる。
 - (1) 居住地を示す現住所
 - (2) 勤務地
 - (3) ふるさと
- 2 「ふるさと」とは、卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県とする。

ただし、JOCエリートアカデミーに係る選手については、別に定める「JOCエリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」第3項により取り扱うものとする。
- 3 我が国の競技力向上を支援する観点より、日本国籍を有する者及び「永住者」については、日本における滞在期間に関わらず、本制度を活用できるものとする。ただし、「日本国籍を有する者および『永住者』」に該当しない者であっても、当該大会年の4月30日（冬季大会は前年の4月30日）以前から本大会終了時（冬季大会は各競技会終了時）まで継続的に日本に滞在している場合は、本制度を活用できるものとする。なお、やむを得ない事情により、一時的に日本を離れる場合は、総日数の半数を超えて日本で滞在していること。
- 4 「ふるさと選手制度」を活用し参加を希望する選手は、予め所定の方法により「ふるさと」を登録しなければならない。なお、一度登録した「ふるさと」は変更できないものとする。
- 5 「ふるさと」から参加する選手は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。
- 6 ふるさと選手制度の活用については、原則として、1回につき2年以上連続とし、利用できる回数は2回までとする。
- 7 参加都道府県は「ふるさと選手」を所定の様式、方法により、当該大会実施要項で定めた参加申込締切期日までに、日本スポーツ協会宛に提出する。



別記2 「『一家転住等』に伴う特例措置」

転校への特例

- 1 次の内容をすべて満たすことにより、国内移動選手の制限（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1-③）に抵触しないものとする。
 - (1) この特例の対象は、「少年種別」への参加者に限る。
 - (2) 本特例を受けることができるのは、一家転住等やむを得ない理由に限ることとする。
なお「一家転住等」とは概ね次のことを言う。
 - ア 親の転勤による一家の転居
 - イ 親の結婚、離婚による一家の転居
 - ウ 上記以外に、やむを得ない理由による一家の転居
 - (3) 転居した時点に応じて、以下の手続きを終了していること。
 - ア 本特例を受けようとする参加者は、下記2(1)の場合は転居元、下記2(2)の場合は転居先が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告すること。
 - イ 報告を受けた都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体は、下記2(1)の場合は転居先、下記2(2)の場合は転居元が属する都道府県体育・スポーツ協会及び都道府県競技団体に対し、その旨報告し了承を得ること。
- 2 本特例を受ける当該大会において、参加することができる都道府県は以下のとおりとする。
 - (1) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居元が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居先が属する都道府県の代表が既に決定している場合
 - イ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表として既に決定している場合
 - ウ 当該参加者が、転居元が属する都道府県の代表選考過程にある場合
 - (2) 転居した時点において、以下に該当する場合は転居先が属する都道府県から参加することができる。
 - ア 転居元が属する都道府県において、当該大会における都道府県代表の選考が開始されていない場合



別記3 「JOC エリートアカデミーに係る選手の参加資格の特例措置」

公益財団法人日本オリンピック委員会が実施する「JOC エリートアカデミー」に係る選手のうち、下記1に該当する者については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項〔国民スポーツ大会開催基準要項第8項第1号及び第10項第4号（参加資格及び年齢基準等）〕及び別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」に関し、次の2～4の特例を適用する。

1 対象者

- (1) 少年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーに在籍する者
- (2) 成年種別年齢域の選手で JOC エリートアカデミーを修了した者、または同アカデミーに在籍する者

2 少年種別年齢域の選手の所属都道府県

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手は、その所属都道府県について、国民体スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－2) - ②に定める「居住地を示す現住所」、「学校教育法第1条に規程する学校の所在地」、「勤務地」のほか、卒業小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

なお、同アカデミーへの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を選択することができる。

3 成年種別年齢域の選手の「ふるさと」

本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手は、別記1「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」第2項に定める卒業小学校、卒業中学校又は卒業高等学校のいずれかの所在地が属する都道府県のほか、同アカデミーでの入校時において小学生であった場合には、入校する直前まで通学していた小学校の所在地が属する都道府県を「ふるさと」とすることができる。

4 国内移動選手の制限に係る例外適用

本特例第1項－(1)に定める少年種別年齢域の選手が前回の大会（都道府県大会を含む）と異なる都道府県から参加する場合、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）に抵触しないものとする。

[注] 本特例第1項－(2)に定める成年種別年齢域の選手については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項－(1)－1)－③（国内移動選手の制限）の規定に従い取り扱うものとする。

5 その他

中央競技団体が国際競技力向上施策として独自に実施するアカデミー事業については、当該中央競技団体からの申請を踏まえ、当該事業の内容が JOC エリートアカデミーに準拠し実施されていることが、公益財団法人日本オリンピック委員会により確認された場合に限り、当該事業を本特例の対象に加えることができる。



別記4 「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリーの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。

1 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- (1) 第32回オリンピック競技大会（2021年・東京）に参加した者。
- (2) 2024年4月30日時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者

ア JOC オリンピック強化指定選手

イ 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者

ウ 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

2 特例の内容

(1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

(2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

ア 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

- a 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
- b 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
- c 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
- d 当該住居に主要な家財道具が存すること

- (イ) 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

イ 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- (ア) 2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。

- (イ) 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

3 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③のとおりとする。



別記5 「東日本大震災に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況及び影響等を総合的に勘案し、青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、千葉県との6県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手及び監督は、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2011年3月11日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手及び監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回または2023年開催の特別大会に当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2011年3月11日時点において、当該特例対象県内に居住又は勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」及び「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出又は学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場することができる。



イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、以下のような震災にかかる理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- <例>
- 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
 - 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」又は「勤務地」とする場合
 - 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2011年度から2012年度(小学校は2015年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。



別記6 「能登半島地震に係る選手及び監督の国民スポーツ大会参加資格の特例措置」

1 特例の対象となる被災地域都道府県

震災による被害状況および影響等を総合的に勘案し、新潟県、富山県、石川県、福井県の4県を本特例の適用対象となる被災地域都道府県（以下「特例対象県」という。）とする。

なお、特例対象県以外の都道府県において対応が必要となった場合は、個別に取り扱うこととする。

2 特例の内容

(1) 特例対象県を所属都道府県とする場合の要件緩和

以下の選手および監督については、「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たしていなくとも、当該特例対象県から参加することができる。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県における「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」の各要件を満たすことができなくなった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

ア 2024年1月1日（震災発生時）時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

イ 災害が発生しなかったと仮定した場合、2024年4月30日以前から当該大会終了時（2024年10月15日）まで継続して当該特例対象県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていたと合理的に推測される者であること。

(2) 避難等による移動先の都道府県を所属都道府県とする場合の要件緩和

ア 被災地域からの避難等により、当該特例対象県と異なる都道府県に移動した以下の選手および監督については、移動先の都道府県から参加することができる。

なお、この場合、第77回大会または2023年開催の特別大会に、当該特例対象県から参加していても、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③（国内移動選手の制限）には抵触しないものとする。

【特例の対象者】

被災地域からの避難等、災害の影響によるやむを得ない事情によって、当該特例対象県から移動せざるを得なかった者。

ただし、以下の事項のいずれにも該当していること。

(ア) 2024年1月1日時点において、当該特例対象県内に居住または勤務していた者。もしくは当該特例対象県内の「学校教育法」第1条に規定する学校に在籍していた者であること。

(イ) 移動先の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする要件を満たしていること。

なお、移動が生じた時期が2024年4月30日以降の場合は、移動先の都道府県の予選会開始までに要件を満たしていることとする。

[注] 「居住地を示す現住所」および「学校所在地」として参加を希望する者については、当該自治体への住所に関する届出または学籍に係る要件を満たしていなくとも、それに準ずる公的な証明書類を提出でき、かつ移動先の都道府県に居住あるいは通学している実態を有していると日本スポーツ協会が認めた場合、移動先の都道府県から出場



することができる。

イ 本項アを適用して避難等による移動先の都道府県から 2023 年開催の特別大会または第 78 回大会に参加した者が、第 79 回大会において、以下のような震災に係る理由により再度都道府県を移動して参加する場合は、国民スポーツ大会開催基準要項細則第 3 項-(1)-1)-③(国内移動選手の制限)には抵触しないものとする。

- <例> ○ 避難先を離れ、当該特例対象県に戻る場合
○ 避難先を離れ、他の都道府県を「居住地を示す現住所」、「学校所在地」または「勤務地」とする場合
○ 他の都道府県に避難先を移す場合

(3) 避難等による移動先の属する都道府県において学校を卒業した場合の「ふるさと」選択要件の緩和

避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者が、成年種別年齢域に達した際、「国民スポーツ大会ふるさと選手制度」を活用して参加する場合、以下のいずれかを「ふるさと」として登録することができる。

ア 卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地

イ 災害の発生した時点で在籍していた小学校、中学校または高等学校の所在地

なお、本特例を適用して上記イの学校所在地を「ふるさと」として登録した場合についても、卒業小学校、卒業中学校または卒業高等学校の所在地を「ふるさと」とする場合と同様、一度登録した「ふるさと」は変更できない。

【特例の対象者】

2024年度から2025年度(小学校は2028年度)までに、避難等による移動先の属する都道府県において小学校、中学校または高等学校を卒業した者。



実施要項

1 期 日 2024年10月6日(日)から10月10日(木)まで(5日間)

種 別	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)
成年男子		予選プール 決勝トーナメント (1回戦)	決勝トーナメント (順位決定戦)		
女 子			予選プール 決勝トーナメント (1回戦)		決勝トーナメント (順位決定戦)
少年男子	1 回 戦	2 回 戦		準 決 勝 5・7位決定戦	決 勝

2 会 場 佐賀市(成年男子・女子・少年男子) SAGAサンライズパーク (ボールフィールド)

3 種別及び参加人数

種 別	監 督	選 手	参加都道府県	小 計	合 計(人)
成年男子	1	10	12	132	552
女 子	1	10	12	132	
少年男子	1	23	12	288	

(注) 成年男子については、監督が男子の場合、選手を兼ねることができる。
女子については、監督が女子の場合、選手を兼ねることができる。

4 競技上の規程及び方法

- (1) 2024年度版 World Rugby 競技規則及び国民スポーツ大会競技規則にて実施する。
- (2) 試合時間は、下表のとおりとする。

種 別		前 半	ハーフタイム	後 半
成年男子	7人制	7分	2分以内	7分
女 子	7人制	7分	2分以内	7分
少年男子	15人制	30分	5分以内	30分

(3) 成年男子の試合形式

第1日目は1プール3チームの総当り戦による予選プール方式(計4プール)と予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式の1回戦とする。
第2日目は予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式の順位決定戦とする。

ア 予選プール

予選プールにおける各プールの順位の決定は、各プール全試合の勝ち点の合計により決定する。各試合の勝ち点は、勝ち3点、引き分け2点、負け1点、棄権0点とする。

なお、予選プール終了時点で、勝ち点と同じ場合は、下記の順序に従い順位を決める。

- (ア) 予選プール全試合の得点数と被得点数の差が最も大きいチームを上位とする。
- (イ) 予選プール全試合のトライ数と被トライ数の差が最も大きいチームを上位とする。
- (ウ) 予選プール全試合で得点数が最も多かったチームを上位とする。
- (エ) 予選プール全試合でトライ数が最も多かったチームを上位とする。
- (オ) 上記基準を用いてもなお順位が付けられない場合は抽選で順位を決める。



イ 決勝トーナメント戦

決勝トーナメント戦において前後半終了時点で同点の場合は、延長戦により勝敗を決定する。延長戦に入る前に、レフリーは試合前と同じようにトスを行う。延長戦は試合終了後の1分後に始まり、5分間のピリオドで行われる。各ピリオド終了後にエンドを入れ替え、ハーフタイムはとらない。どちらかのチームが得点（ドロップゴール、ペナルティゴール、またはトライ）するまで5分間のピリオドを繰り返す。

(4) 女子の試合形式

第1日目は1プール3チームの総当り戦による予選プール方式（計4プール）と予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式の1回戦とする。

第2日目は予選プールにおいて各プール2位以内となった8チームによるトーナメント方式の順位決定戦とする。

ア 予選プール

予選プールにおける各プールの順位の決定は、各プール全試合の勝ち点の合計により決定する。各試合の勝ち点は、勝ち3点、引き分け2点、負け1点、棄権0点とする。

なお、予選プール終了時点で、勝ち点が同じ場合は、成年男子の決定方法に準ずる。

イ 決勝トーナメント戦

成年男子の決勝トーナメント戦に準ずる。

(5) 少年男子の試合形式

トーナメント方式とする。

トーナメントにおいて、規定時間内に、同点のため次の試合への出場チームが決まらない場合及び順位を決めなければならない場合、次の方法で決める。

ア 総トライ数の多いチームを上位とする。

イ 総トライ数も同じ場合は、ペナルティトライ数の多いチームを上位とする。

ウ 総トライ数もペナルティトライ数も同数の場合は、トライ後のゴール数の多いチームを上位とする。

エ 上記の方法で決定できない時は、抽選によって次回への出場または順位を決める。

オ 決勝戦の場合は上記の定めにかかわらず、両チーム優勝とする。ただし、5・7位決定戦で同点の場合、順位は上記ア、イ、ウ、エ及び第7項(1)の定めにかかわらず、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会で決定する。

(6) 雷等、荒天時等における「中断」「再開」「勝敗」について

試合中に落雷（雷鳴・雷光）が発生した場合、直ちに試合を中断させる。中断ならびに再開の判断は競技担当責任者を中心に、気象庁から発表される気象警報を確認し、大会関係者と協議し決定する。

再開の判断は、中断後概ね30分後を目途とする。

チームのウォーミングアップ時間を十分に配慮した上で、試合再開時刻を決定する。

試合が中断し再開出来ないと判断した場合、以下の方法で勝者を決定する。

ア 成年男子・女子：予選プール

(ア) 中断時で前半が終了している場合は、試合は成立し、その得点を有効とする。

(イ) 後半途中で中断した場合は、試合は成立し、中断時の得点を有効とする。

(ウ) 中断時に前半が終了していない場合は抽選とする。

(エ) 再度中断した場合は（ア）、（イ）、（ウ）を適用する。

イ 成年男子・女子：決勝トーナメント戦、少年男子

(ア) 中断時で前半が終了している場合は、試合は成立する。

(イ) 後半途中で中断した場合は、試合は成立する。

(ウ) 中断時に前半が終了していない場合は抽選とする。

(エ) 再度中断した場合は（ア）、（イ）、（ウ）を適用する。



5 予選方法

- (1) 競技規則、罰則、参加資格等については、本大会に準ずる。
 - ア ブロック大会の日程、会場の決定
各種別のブロック大会の日程、会場は当該ブロック大会を統轄する協会長から公益財団法人日本ラグビーフットボール協会長に報告する。
 - イ 公益財団法人日本ラグビーフットボール協会では、7・8月をシーズンオフと定めているので、この期間に試合を行うことは適切でないが、国民スポーツ大会のブロック大会を行うため、やむを得ず特例を認める。ただし、事故防止の観点から試合開始時刻については、午前、午後の適切な時間帯を選び慎重に行うこと。
上記の理由で少年男子は決勝も含め、前後半 25 分ハーフで実施することとする。
- (2) ブロック大会申込み方法
各都道府県ラグビーフットボール協会は、基礎となる選手（予備登録選手を含む）成年男子及び女子 35 名以内、少年男子 50 名以内を所定の Web ページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、当該ブロック大会参加申込締切日までに申し込む。
- (3) チーム編成
単独、補強及び選抜を問わず、チーム名は都道府県名を冠すること。
- (4) 女子
ブロック大会がやむを得ず実施できない場合は、ブロック大会開催県体育・スポーツ協会（実行委員会）、開催県ラグビーフットボール協会、管轄の地域ラグビーフットボール協会（三地域協会）及び公益財団法人日本ラグビーフットボール協会と協議の上、推薦で決めることができる。
- (5) ブロック大会区分及び代表チーム数は、下表のとおりとする。

ブロック名	都道府県名	成年男子	女子	少年男子
北海道	北海道	1	1	1
東北	青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島	1	1	1
関東	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨	2	2	2
北信越	新潟、長野、富山、石川、福井	1	1	1
東海	静岡、愛知、三重、岐阜	1	1	1
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山	2	2	2
中国	鳥取、島根、岡山、広島、山口	1	1	1
四国	香川、徳島、愛媛、高知	1	1	1
九州	福岡、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄	1	1	1
開催県	佐賀	1	1	1
計		12	12	12

- (6) 予選会の結果報告
ブロック大会の結果は、それぞれ主管した都道府県ラグビーフットボール協会が 2024 年 9 月 1 日（日）までに公益財団法人日本ラグビーフットボール協会宛報告すること。
- (7) 本大会は、「令和 5 年度特別国民体育大会ラグビーフットボール競技」での各種別（成年男子・女子・少年男子）の上位 4 県をシードする。

6 参加資格、所属都道府県及び選手の年齢基準

総則 5 に定めるもののほか次による。

- (1) 少年男子
高等学校在学中の生徒は、所属長（居住地を示す現住所によるもののほかは都道府県ラグビーフットボール協会長）が、人物、身体、学業など適当と認めたものとする。

- (2) 女子
 高校1年生を含む2009年4月1日以前に生まれた者。
 高等学校在学中の生徒は、所属長（居住地を示す現住所によるもののほかは都道府県ラグビーフットボール協会長）が、人物、身体、学業など適当と認めたものとする。
- (3) 監督
 チームの監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認ラグビーフットボールコーチ3（公益財団法人日本ラグビーフットボール協会強化コーチ）、公認ラグビーフットボールコーチ4のいずれかの資格を有する者とする。
- (4) その他
 公益財団法人日本スポーツ協会規定及び公益財団法人日本ラグビーフットボール協会選手・役員規定に違反するものは参加できない。

7 総合成績決定方法

男女総合成績（天皇杯得点）及び女子総合成績（皇后杯得点）は、競技得点と参加得点の合計とし、その得点の多い都道府県順に順位を決定する。ただし、同点の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。

(1) 競技得点

天皇杯対象種別	皇后杯対象種別	競 技 得 点
成年男子 女子	女子	各種別とも1位40点、2位35点、3位30点、4位25点、5位20点、6位15点、7位（2チーム）各7.5点の競技得点を与える。
少年男子		1位64点、2位56点、3位（2チーム）各44点、5位（2チーム）各28点、7位（2チーム）各12点の競技得点を与える。 ただし、同順位の場合は、その順位を共有し、次の順位を欠位とする。なお、得点は次の順位のものに加え、当該都道府県で等分する。

(2) 参加得点

大会（ブロック大会を含む）に参加した都道府県に10点を与える。ただし、ブロック大会で本大会の出場権を獲得しながら、本大会に参加しなかった場合は与えない。

8 表 彰

- 男女総合成績及び女子総合成績の第1位から第8位までの都道府県に、表彰状を授与する。
- 男女総合成績第1位の都道府県に、大会会長トロフィーを授与する。
- 各種別の第1位から第7位（2チーム）までに、賞状を授与する。

9 参加申込み方法

総則8に定めるもののほか、次による。

- 所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、所属都道府県体育・スポーツ協会を通じて、2024年9月4日（水）までに申込手続きを完了すること。
- 締切期限以降は所定のWebページ（国民スポーツ大会参加申込システム）へアクセスできなくなるので、締切期限を厳守すること。
- 参加申込み締切後の選手変更は、疾病、傷害等及び特別な場合は認める。又、監督変更は、第6項(3)の条件を満たしていることとする。なお、選手・監督変更とも代表者会議の決定をもって最終とする。

ア 提出期限 成年男子 2024年10月6日（日）
 女子 2024年10月7日（月）
 少年男子 2024年10月5日（土）



イ 提出先

- (ア) 〒107-0062 東京都港区南青山一丁目1-1 新青山ビル 東館5階
公益財団法人日本ラグビーフットボール協会
TEL 03-3401-3321 FAX 03-5775-5034
- (イ) 〒840-8570 佐賀県佐賀市城内一丁目1番59号
SAGA2024実行委員会事務局
(佐賀県SAGA2024・SSP推進局SAGA2024競技運営
チーム 国民スポーツ大会担当)
TEL 0952-25-7405 FAX 0952-25-7354
- (ウ) 〒840-0831 佐賀県佐賀市松原一丁目3番5号 まるなかビル4階
SAGA2024佐賀市実行委員会事務局
(佐賀市国スポ・全障スポ推進部国スポ・全障スポ競技課)
TEL 0952-40-7362 FAX 0952-20-5008

なお、公益財団法人日本スポーツ協会に対しては、上記への提出後、別途、所定の手続きにより、参加申込み情報を修正すること。

- (4) 問合わせ先
上記(ア)(イ)(ウ)参照

10 参加上の注意

- (1) 少年男子は、全国高等学校体育連盟ラグビーフットボール専門部が定める「プレーヤーの服装規定」に準ずること。
- (2) 女子は、必ずマウスガード、歯を保護するものの着用を義務とすること。また、19歳未満の選手には、ヘッドギア(WRのマークがついたもの)着用も義務とすること。
なお、競技規則はワールドラグビー制定の『2024年度7人制競技規則』を適用するが、安全面を考慮し、スクイズボールや危険とみなされたプレーにおいてはレフリーの判断でとめる場合もある。
- (3) 本大会におけるアシスタントレフリー・サブコントローラー(選手入替・交代管理者)は、大会本部で配置する。
- (4) 競技中及びその前後に使用するユニフォーム類の胸には、必ず所属する都道府県名を明示すること。
- (5) 成年男子・女子・少年男子の試合球は、次のとおりとする。
ア 成年男子・女子 ギルバート GB-9149 クオンタム・セブンズ 5号球
イ 少年男子 セプター SP-14S ワールドモデル WM-II 5号球

11 その他

- (1) 組合せ抽選会
日時 2024年9月8日(日) 午後1時
場所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 内会議室
〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
TEL 03-3401-3321 FAX 03-3401-6610
- (2) 代表者会議
(成年男子)
日時 2024年10月6日(日) 午後4時
場所 メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター) 多目的ホール
〒849-0919 佐賀県佐賀市兵庫北三丁目8番40号
TEL 0952-33-0003 FAX 0952-33-0322



(女 子)

日 時 2024年10月7日(月) 午後4時
場 所 メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)多目的ホール
〒849-0919 佐賀県佐賀市兵庫北三丁目8番40号
TEL 0952-33-0003 FAX 0952-33-0322

(少年男子)

日 時 2022年10月5日(土) 午後4時
場 所 メートプラザ佐賀(佐賀勤労者総合福祉センター)多目的ホール
〒849-0919 佐賀県佐賀市兵庫北三丁目8番40号
TEL 0952-33-0003 FAX 0952-33-0322

(3) 表彰式

(成年男子)

日 時 2024年10月8日(火) 競技終了後
場 所 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド)
〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出二丁目1番10号

(女子・総合)

日 時 2024年10月10日(木) 競技終了後
場 所 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド)
〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出二丁目1番10号

(少年男子)

日 時 2024年10月10日(木) 競技終了後
場 所 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド)
〒849-0923 佐賀県佐賀市日の出二丁目1番10号



式典次第

成年男子 表彰式次第

- (1) 日時 令和6年10月8日(火) 競技終了後
 (2) 会場 SAGAサンライズパークポールフィールド
 (3) 式次第

順 序	次 第
1	開式通告
2	成績発表
3	賞状・副賞授与
4	最優秀選手賞授与
5	競技会会長挨拶
6	歓送のことば
7	競技会終了宣言
8	閉式通告
9	選手団退場

少年男子 表彰式次第

- (1) 日時 令和6年10月10日(木) 競技終了後
 (2) 会場 SAGAサンライズパークポールフィールド
 (3) 式次第

順 序	次 第
1	開式通告
2	成績発表
3	賞状・副賞授与
4	最優秀選手賞授与
5	競技会会長挨拶
6	歓送のことば
7	競技会終了宣言
8	閉式通告
9	選手団退場

女子・総合成績 表彰式次第

- (1) 日時 令和6年10月10日(木) 競技終了後
 (2) 会場 SAGAサンライズパークポールフィールド
 (3) 式次第

順 序	次 第
1	開式通告
2	成績発表
3	賞状・副賞授与
4	最優秀選手賞授与
5	総合成績発表
6	表彰状・大会会長トロフィー授与
7	競技会会長挨拶
8	歓迎のことば
9	国旗・大会旗・諸旗降納
10	競技会終了宣言
11	閉式通告
12	選手団退場

競技日程

佐賀市

代表者会議	【成年男子】	10月6日(日)	16時00分	メートプラザ佐賀
	【女子】	10月7日(月)	16時00分	メートプラザ佐賀
	【少年男子】	10月5日(土)	16時00分	メートプラザ佐賀

会場	種別	10月6日(日)	10月7日(月)	10月8日(火)	10月9日(水)	10月10日(木)	
SAGAサンライズパーク(ポールフィールド)	北面(人工芝)	成年男子		○予選プール (12試合) 第1試合 10:00~ 最終試合 14:00~ ○決勝トーナメント (1回戦) (4試合) 第1試合 15:00~ 最終試合 16:00~			
			南面(人工芝)		○決勝トーナメント (7試合) 第1試合 10:00~ 最終試合 12:40~ 表彰式(競技終了後) 成年男子		
	北面(人工芝)	女子			○予選プール (12試合) 第1試合 10:00~ 最終試合 14:00~ ○決勝トーナメント (1回戦) (4試合) 第1試合 15:00~ 最終試合 16:00~		
			南面(人工芝)				○決勝トーナメント (7試合) 第1試合 10:00~ 最終試合 14:00~ 表彰式(競技終了後) 女子・総合
	北面(人工芝)	少年男子					
			南面(人工芝)	1回戦 第1試合 10:30~ 第2試合 11:50~ 第3試合 13:10~ 第4試合 14:30~	2回戦 第1試合 10:30~ 第2試合 11:50~ 第3試合 13:10~ 第4試合 14:30~		5・7位決定戦 第1試合 10:30~ 第2試合 11:50~ 準決勝 第1試合 13:10~ 第2試合 14:30~

表彰式	【成年男子】	10月8日(火)	競技終了後	SAGAサンライズパーク(ポールフィールド)
	【女子・総合】	10月10日(木)	競技終了後	SAGAサンライズパーク(ポールフィールド)
	【少年男子】	10月10日(木)	競技終了後	SAGAサンライズパーク(ポールフィールド)



ラグビーフットボール競技組合せ表【少年男子】

試合時間：30分ハーフ
ハーフタイム：5分以内

会場 A: SAGAサンライズパークボールフィールド南面（人工芝）

10月9日（水）	都道府県名	10月6日（日）	10月7日（月）	10月9日（水）	10月10日（木）	
5・7位決定戦		1回戦	2回戦	準決勝	決勝	
A-9 10:30	東京都 1	A-1 10:30	A-5 10:30	A-11 13:10	A-13 11:30	
	北海道 2					
	愛知県 3	A-2 11:50	A-6 11:50			
	島根県 4					
	兵庫県 5	A-10 11:50	A-7 13:10			A-12 14:30
	大分県 6					
神奈川県 7	A-3 13:10	A-8 14:30				
奈良県 8						
愛媛県 9	A-4 14:30	A-10 11:50				
宮城県 10						
石川県 11	A-10 11:50	A-10 11:50				
佐賀県 12						

ラグビーフットボール競技組合せ表【成年男子】

<予選プール> 10月7日(月)

会場 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド北面)

試合時間 : 7分ハーフ
ハーフタイム : 2分以内

* 試合間隔は4分
* 予選プールの④試合・⑧試合後に10分間のインターバルを設ける
* 予選プールと決勝トーナメント(1回戦)の間に40分間のインターバルを設ける

I プール

都道府県名	新潟県	徳島県	愛知県	勝敗	勝ち点	順位
a 新潟県	○	①	⑤			
b 徳島県		○	⑨			
c 愛知県			○			

<予選プール>

(a-b)

I ① 10:00~ I a - I b
II ② 10:20~ II a II b
III ③ 10:40~ III a III b
IV ④ 11:00~ IV a IV b

II プール

都道府県名	青森県	茨城県	滋賀県	勝敗	勝ち点	順位
a 青森県	○	②	⑥			
b 茨城県		○	⑩			
c 滋賀県			○			

(a-c)

I ⑤ 11:30~ I a - I c
II ⑥ 11:50~ II a II c
III ⑦ 12:10~ III a III c
IV ⑧ 12:30~ IV a IV c

III プール

都道府県名	広島県	長崎県	和歌山県	勝敗	勝ち点	順位
a 広島県	○	③	⑦			
b 長崎県		○	⑪			
c 和歌山県			○			

(b-c)

I ⑨ 13:00~ I b - I c
II ⑩ 13:20~ II b II c
III ⑪ 13:40~ III b III c
IV ⑫ 14:00~ IV b IV c

IV プール

都道府県名	千葉県	佐賀県	北海道	勝敗	勝ち点	順位
a 千葉県	○	④	⑧			
b 佐賀県		○	⑫			
c 北海道			○			

<決勝トーナメント>(1回戦)

⑬ 15:00~
⑭ 15:20~
⑮ 15:40~
⑯ 16:00~

(16:16 終了)

<決勝トーナメント> 10月7日(月)・8日(火)

会場 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド南面~人工芝)

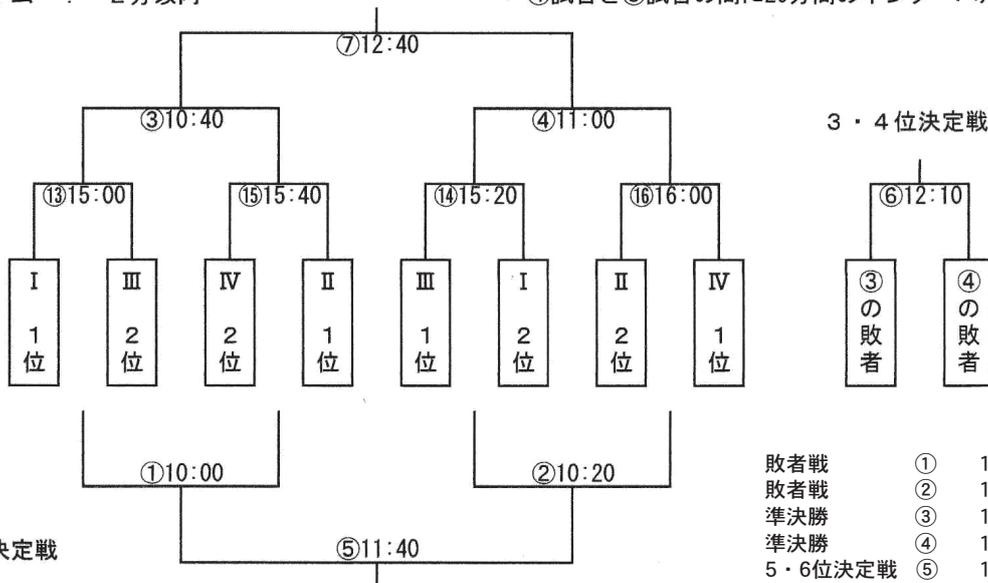
試合時間 : 7分ハーフ
ハーフタイム : 2分以内

* ④試合と⑤試合の間に20分間のインターバルを設ける

決勝戦
10/8(火)

準決勝
10/8(火)

1回戦
10/7(月)



敗者戦 ① 10:00~
敗者戦 ② 10:20~
準決勝 ③ 10:40~
準決勝 ④ 11:00~
5・6位決定戦 ⑤ 11:40~
(表彰式: 5,6,7位) 12:00~
3・4位決定戦 ⑥ 12:10~
(表彰式: 3,4位) 12:30~
決勝戦 ⑦ 12:40~
(表彰式: 1,2位) 13:00~



タイムスケジュール表【成年男子】

会場種別	1日目 10月7日(月)			2日目 10月8日(火)			備考
S A G A サ ン ラ イ ズ パ ー ク (ボ ー ル フ ィ ー ル ド)	予選プール(12試合) 決勝トーナメント(1回戦4試合) 10:00~16:20 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド北面)			決勝トーナメント(7試合) 10:00~13:00 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド南面)			
	No.	時 間	チーム名 VS チーム名	No.	時 間	チーム名 VS チーム名	
	①	10:00~10:16	新潟県 VS 徳島県	①	10:00~10:16	⑬敗者 VS ⑮敗者	敗者戦
	②	10:20~10:36	青森県 VS 茨城県	②	10:20~10:36	⑭敗者 VS ⑯敗者	敗者戦
	③	10:40~10:56	広島県 VS 長崎県	③	10:40~10:56	⑬勝者 VS ⑮勝者	準決勝
	④	11:00~11:16	千葉県 VS 佐賀県	④	11:00~11:16	⑭勝者 VS ⑯勝者	準決勝
	⑤	11:30~11:46	新潟県 VS 愛知県	⑤	11:40~11:56	①勝者 VS ②勝者	5位・6位決定戦
	⑥	11:50~12:06	青森県 VS 滋賀県		12:00~	5位・6位・7位表彰式	
	⑦	12:10~12:26	広島県 VS 和歌山県	⑥	12:10~12:26	③敗者 VS ④敗者	3位・4位決定戦
	⑧	12:30~12:46	千葉県 VS 北海道		12:30~	3位・4位表彰式	
	⑨	13:00~13:16	徳島県 VS 愛知県	⑦	12:40~12:56	③勝者 VS ④勝者	決勝戦
	⑩	13:20~13:36	茨城県 VS 滋賀県		13:00~	1位・2位表彰式	
	⑪	13:40~14:56	長崎県 VS 和歌山県				
	⑫	14:00~14:16	佐賀県 VS 北海道				
	⑬	15:00~15:16	I-1位 VS III-2位	1回戦			
	⑭	15:20~15:36	III-1位 VS I-2位	1回戦			
	⑮	15:40~16:56	IV-2位 VS II-1位	1回戦			
⑯	16:00~16:16	II-2位 VS IV-1位	1回戦				



ラグビーフットボール競技組合せ表【女子】

<予選プール> 10月8日(火)

会場 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド北面)

試合時間 : 7分ハーフ
ハーフタイム : 2分以内

* 試合間隔は4分
* 予選プールの④試合・⑧試合の後に10分間のインターバルを設ける
* 予選プールと決勝トーナメント(1回戦)の間に40分間のインターバルを設ける

I プール

都道府県名	石川県	徳島県	栃木県	勝敗	勝ち点	順位
a 石川県		①	⑤			
b 徳島県			⑨			
c 栃木県						

<予選プール>

(a-b)
I ① 10:00~ I a - I b
II ② 10:20~ II a II b
III ③ 10:40~ III a III b
IV ④ 11:00~ IV a IV b

II プール

都道府県名	佐賀県	京都府	山口県	勝敗	勝ち点	順位
a 佐賀県		②	⑥			
b 京都府			⑩			
c 山口県						

(a-c)
I ⑤ 11:30~ I a - I c
II ⑥ 11:50~ II a II c
III ⑦ 12:10~ III a III c
IV ⑧ 12:30~ IV a IV c

III プール

都道府県名	三重県	青森県	神奈川県	勝敗	勝ち点	順位
a 三重県		③	⑦			
b 青森県			⑪			
c 神奈川県						

(b-c)
I ⑨ 13:00~ I b - I c
II ⑩ 13:20~ II b II c
III ⑪ 13:40~ III b III c
IV ⑫ 14:00~ IV b IV c

IV プール

都道府県名	大阪府	福岡県	北海道	勝敗	勝ち点	順位
a 大阪府		④	⑧			
b 福岡県			⑫			
c 北海道						

<決勝トーナメント>(1回戦)

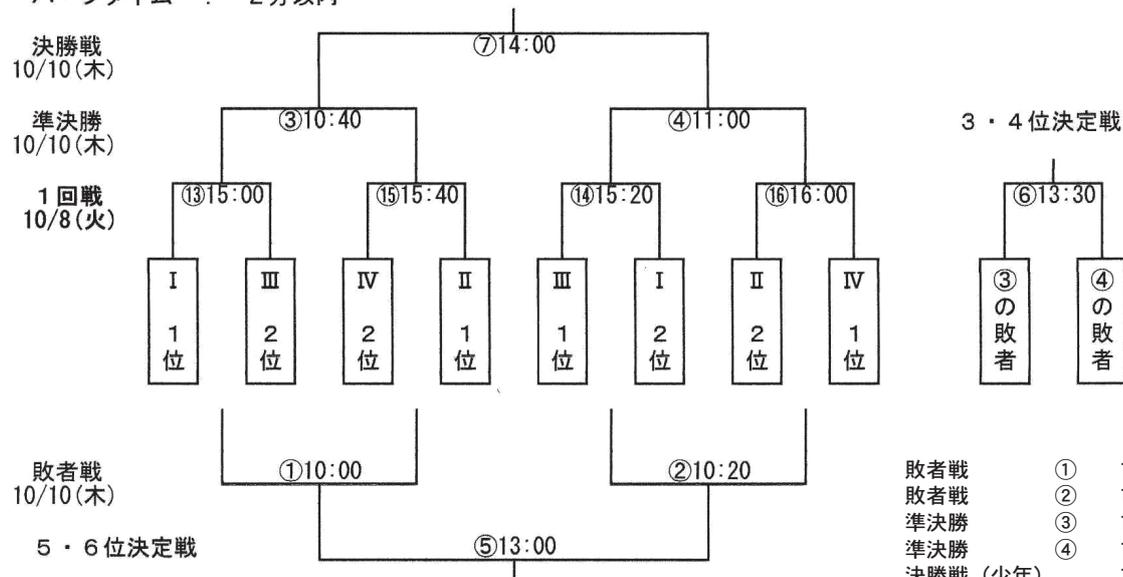
⑬ 15:00~
⑭ 15:20~
⑮ 15:40~
⑯ 16:00~

(16:16 終了)

<決勝トーナメント> 10月8日(火)・10日(木)

会場 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド南面~人工芝)

試合時間 : 7分ハーフ
ハーフタイム : 2分以内



敗者戦 ① 10:00~
敗者戦 ② 10:20~
準決勝 ③ 10:40~
準決勝 ④ 11:00~
決勝戦(少年) ⑤ 11:30~
(表彰式: 1, 2位) 12:50~
5・6位決定戦 ⑤ 13:00~
(表彰式: 5, 6, 7位) 13:20~
3・4位決定戦 ⑥ 13:30~
(表彰式: 3, 4位) 13:50~
決勝戦(女子) ⑦ 14:00~
(表彰式: 1, 2位) 14:20~



タイムスケジュール表【女子】

会場種別	1日目 10月8日(火)			2日目 10月10日(木)			備考
S A G A サ ン ラ イ ズ パ ー ク (ポ ー ル フ ィ ー ル ド) 女 子	予選プール(12試合) 決勝トーナメント(1回戦4試合) 10:00~16:20 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド北面)			決勝トーナメント(7試合) 少年男子 決勝(1試合) 10:00~14:20 SAGAサンライズパーク(ボールフィールド南面)			
	No.	時 間	チーム名 VS チーム名	No.	時 間	チーム名 VS チーム名	
	①	10:00~10:16	石 川 県 VS 徳 島 県	①	10:00~10:16	⑬敗者 VS ⑮敗者	敗者戦
	②	10:20~10:36	佐 賀 県 VS 京 都 府	②	10:20~10:36	⑭敗者 VS ⑯敗者	敗者戦
	③	10:40~10:56	三 重 県 VS 青 森 県	③	10:40~10:56	⑬勝者 VS ⑮勝者	準決勝
	④	11:00~11:16	大 阪 府 VS 福 岡 県	④	11:00~11:16	⑭勝者 VS ⑯勝者	準決勝
	⑤	11:30~11:46	石 川 県 VS 栃 木 県		11:30~12:40	A-⑪の勝者 VS A-⑫の勝者	少年男子決勝戦
	⑥	11:50~12:06	佐 賀 県 VS 山 口 県		12:50~	少年男子1位・2位表彰式	
	⑦	12:10~12:26	三 重 県 VS 神 奈 川 県	⑤	13:00~13:16	①勝者 VS ②勝者	5位・6位決定戦
	⑧	12:30~12:46	大 阪 府 VS 北 海 道		13:20~	5位・6位・7位表彰式	
	⑨	13:00~13:16	徳 島 県 VS 栃 木 県	⑥	13:30~13:46	③敗者 VS ④敗者	3位・4位決定戦
	⑩	13:20~13:36	京 都 府 VS 山 口 県		13:50~	3位・4位表彰式	
	⑪	13:40~14:56	青 森 県 VS 神 奈 川 県	⑦	14:00~14:16	③勝者 VS ④勝者	女子決勝戦
	⑫	14:00~14:16	福 岡 県 VS 北 海 道		14:20~	1位・2位表彰式	
	⑬	15:00~15:16	I-1位 VS III-2位	1回戦			
	⑭	15:20~15:36	III-1位 VS I-2位	1回戦			
	⑮	15:40~16:56	IV-2位 VS II-1位	1回戦			
⑯	16:00~16:16	II-2位 VS IV-1位	1回戦				



参加監督・選手一覧表【成年男子】

北海道					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	鈴木 貴博			1975/04/21	(株)メディカルシステムネットワーク
①	神山 達哉	170	74	2000/02/17	旭川医科大学
2	濱口 竜輝	178	97	1996/06/10	長沼町役場
3	奥田 浩也	182	80	1986/10/21	(株)メディカルシステムネットワーク
4	櫻場 弥	170	88	1991/07/07	(株)メディカルシステムネットワーク
5	七戸 勇氣	171	76	1991/03/08	(株)メディカルシステムネットワーク
6	相澤 賢志郎	172	75	1998/11/29	(株)メディカルシステムネットワーク
7	佐藤 駿	177	110	1994/01/21	(株)ポプラ館
8	稲葉 逸生	180	83	2005/08/13	旭川医科大学
9	阿部 涼太	170	71	2001/05/29	(株)メディカルシステムネットワーク
10	伊東 佑也	169	81	2001/10/03	陸上自衛隊旭川駐屯地

青森県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	山下 祐史			1984/09/15	八戸学院大学(職)
①	鶴谷 知憲	185	95	1990/10/18	WHY NOT?
2	三上 匠	192	103	1990/05/15	三上工務店
3	小笠原 駿	173	77	1990/07/07	(株)青南商事
4	本間 智貴	168	71	2000/08/10	六ヶ所村役場
5	宝田 神響	183	79	2002/09/06	八戸学院大学
6	吹越 大清	180	92	1998/02/17	青森県ラグビーフットボール協会
7	坂井 悠生	180	80	2003/02/17	八戸学院大学
8	對馬 瑛教	182	97	1987/06/26	陸上自衛隊青森駐屯地
9	杉山 葉	173	63	2003/08/08	八戸学院大学
10	工藤 遙生	175	75	2004/12/25	八戸学院大学
11	山下 祐史	175	80	1984/09/15	八戸学院大学(職)

千葉県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	石橋 達也			1987/12/24	千葉バーバリアンズ
1	石橋 達也	182	73	1987/12/24	千葉バーバリアンズ
②	加部 恭史	180	95	1988/08/04	千葉バーバリアンズ
3	小池 辰弥	176	93	1987/01/24	千葉バーバリアンズ
4	為成 智広	168	75	1993/04/03	ライオンファンクス
5	為成 伸広	170	72	1995/03/24	千葉県立小金高等学校(教)
6	江良 楓	172	78	1999/08/09	ライオンファンクス
7	大澤 陸大	169	85	1999/08/10	ライオンファンクス
8	丸尾 祐資	170	75	2000/10/25	NECグリーンロケッツ東葛
9	小幡 将己	181	91	1998/12/25	NECグリーンロケッツ東葛
10	木村 友憲	168	78	1992/10/23	千葉バーバリアンズ
11	村山 侑矢	170	67	2004/06/22	くるみクラブ



茨城県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	柴田 淳			1954/10/27	茗溪学園中学校高等学校(教)
1	野村 将大	181	83	2002/01/02	株式会社日立産業制御ソリューションズ
2	藤丸 優也	186	105	2001/11/02	株式会社日立インダストリアルプロダクツ
3	中村 龍太郎	180	105	1996/04/03	太陽日酸東関東株式会社
④	菊池 優介	175	82	1996/11/10	日立埠頭株式会社
5	埜村 正章	174	81	2001/10/12	ロジスティード東日本株式会社
6	横瀬 慎太郎	168	73	1998/03/18	ロジスティード東日本株式会社
7	小田嶋 生吹	181	86	2001/04/15	株式会社日立プラントコンストラクション
8	當眞 真	183	98	2000/09/20	株式会社日立ハイテクマニファクチャ&サービス
9	吉澤 雅樹	181	88	2000/12/17	株式会社日立インダストリアルプロダクツ
10	上假屋 優輝	176	77	1996/10/17	ロジスティード東日本株式会社

新潟県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	齋藤 敏			1980/05/18	県立新潟工業高等学校(教)
1	五十嵐 壮平	177	80	1996/04/09	パーソナルダイエットジムNINE
2	井村 凜	175	75	2002/05/29	金沢学院大学
3	大久保 征	170	75	2002/09/06	東海大学
4	大月 淳史	175	80	2000/08/10	(株)第四北越銀行
5	小日向 杏介	168	70	1997/01/02	(株)第四北越銀行
6	方村 雄大	168	68	2001/12/01	新潟県立大学
7	加納 貴文	173	80	1999/02/21	村上市立朝日中学校(教)
⑧	小林 大也	172	83	1998/08/17	燕市役所
9	本多 光	173	75	1995/09/02	県立新津南高等学校(教)
10	山崎 成太	175	85	2000/09/15	大和ハウス工業(株)
11	齋藤 敏	180	95	1980/05/18	県立新潟工業高等学校(教)

愛知県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	山下 昂			1989/11/22	愛知県立旭丘高等学校(教)
①	塚本 健	176	76	1993/08/27	栄徳高等学校(職)
2	祖父江 祐太	172	77	1993/08/03	長久手市立北小学校(教)
3	山下 昂	171	83	1989/11/22	愛知県立旭丘高等学校(教)
4	池田 昂洋	171	85	1995/03/09	名古屋市立神宮寺小学校(教)
5	本多 覚士	172	81	2000/08/15	(株)豊通テック
6	澤 幸之介	168	74	2000/12/13	(株)ティー・イー・エス
7	梶原 悠汰	167	69	2001/11/29	豊田ケミカルエンジニアリング(株)
8	高木 陵太郎	180	78	2000/05/23	豊通物流(株)
9	中島 黎遂	176	86	1999/05/15	令和スポーツパートナー(株)
10	井上 正規	163	75	1997/01/17	CCNet(株)
11	山白 海弥	173	85	2000/05/23	名古屋銀行



滋賀県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	内藤 伸哉			1996/01/25	滋賀県立玉川高等学校(教)
①	内藤 伸哉	182	88	1996/01/25	滋賀県立玉川高等学校(教)
2	盛田 気	180	85	1995/10/05	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
3	塚野 武	181	94	1997/10/28	ロジスティード東日本株式会社
4	粕淵 爽介	170	73	2003/05/15	陽風水工房
5	林 大成	176	82	1992/06/27	公益財団法人滋賀県スポーツ協会
6	鳥居 嵩司	179	80	2001/01/31	共栄工業株式会社 京都工場
7	青山 大河	172	73	1998/07/10	滋賀県立甲南高等学校(教)
8	桑原 大翔	177	72	2003/04/16	山梨学院大学
9	角 颯真	182	72	1998/04/25	滋賀県立東大津高等学校(教)
10	藏立 紘宇	180	78	1997/08/10	米原市立双葉中学校(教)
11	川上 順紀	181	88	1992/11/27	近江八幡市立八幡西中学校(教)

和歌山県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	福田 亮介			1988/02/24	和歌山市立西浜中学校(教)
1	福田 亮介	171	73	1988/02/24	和歌山市立西浜中学校(教)
2	中川 拓也	174	90	1991/04/19	株式会社山西板金工業
③	野崎 達郎	180	115	1990/12/11	和歌山県立はまゆう支援学校(教)
4	丸田 誠一	177	80	1998/02/22	JA和歌山
5	白樫 侑大	168	70	2001/07/06	日本製鉄株式会社関西製鉄所和歌山
6	岡本 真人	175	78	1998/05/15	浄化槽保守点検業アスカ
7	古川 晃平	170	70	1999/03/17	紀美野町消防本部
8	畠山 和哉	185	115	1998/08/25	F・Mデザイン
9	竹内 翠	178	83	1999/07/11	ドギーマンハヤシ株式会社
10	河波 風太	175	83	1999/09/19	ユニチカ株式会社
11	月田 琳太郎	170	74	2003/12/24	九州共立大学

広島県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	岸 拓実			1991/09/09	宮島工業高校(教)
1	河野 翼	164	70	1995/07/03	マツダ(株)
2	亀井 康平	176	80	1997/06/27	マツダ(株)
3	笹岡 海斗	174	85	1999/07/15	マツダ(株)
4	中村 悠人	177	85	1998/03/02	マツダ(株)
5	平山 真也	176	85	1998/10/08	中国電力(株)
6	山口 莉輝	180	82	1999/02/14	中国電力(株)
7	北山 絢大	172	78	2000/10/30	中国電力(株)
8	岸 拓実	178	105	1991/09/09	宮島工業高校(教)
⑨	結城 光	181	81	2003/03/14	広島大学
10	東川 寛史	175	87	1995/06/09	中国電力(株)
11	名越 亮	168	80	1996/06/21	(株)丸岡産商



徳島県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	真先 健			1968/08/18	つるぎ高等学校(教)
1	田村 慶伍	186	95	1999/01/31	自営業
2	柴田 流生	170	75	1999/01/05	(株)シンクラン
3	伊藤 優汰	173	82	2001/06/12	四国電力送配電(株)
4	三木 海芽	167	75	2001/05/18	(株)阿波銀行
5	齊藤 洋人	174	72	1998/07/13	(株)大塚製薬工場
6	佐藤 桜太	176	78	2004/06/23	関西学院大学
⑦	近藤 健吾	175	75	1997/06/24	富士建設工業(有)
8	藤坂 寿貴	174	76	2002/01/01	コスモスクラブ
9	笠原 京介	171	77	1999/11/20	徳島県庁
10	十川 拓巳	178	80	1998/02/17	いわさ(株)

長崎県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	向井 友教			1985/10/20	三菱重工業(株)
1	山崎 太星	178	85	1994/09/16	アイティーアイ(株)
2	浦川 進之介	167	72	1996/03/03	崎永海運(株)
③	山道 岬	173	85	1997/05/14	三菱日立パワーシステムズ(株)
4	有川 航汰	162	68	2000/04/21	(株)富士商会
5	本多 旺人	163	60	2005/03/16	長崎大学
6	中尾 進太郎	173	80	1992/11/10	長崎市消防局
7	二宮 流生	176	84	1995/08/19	(株)フィジタ
8	朝長 駿	181	100	1997/02/14	日野自動車(株)
9	諸山 祐祥	173	83	2003/03/09	関東学院大学
10	中島 拳志朗	173	81	2004/07/30	関東学院大学

佐賀県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	副島 亀里ララボウラ ティアナラ			1983/06/01	Team SAGA SSP
1	常安 翔太	183	82	1996/05/11	佐電工
2	副島 亀里ララボウラ ティアナラ	190	89	1983/06/01	Team SAGA SSP
3	松田 晃汰	181	85	2000/02/03	Team SAGA SSP
4	宮上 廉	178	90	1997/05/15	横河武蔵野アトラスターズ
⑤	津岡 翔太郎	181	85	1996/03/22	コカ・コーラ
6	福士 萌起	184	98	1999/03/11	日野レッドドルフィンズ
7	松本 純弥	171	79	2000/03/17	浦安D-Rocks
8	矢次 竜介	173	80	2001/10/24	安川電機
9	後藤 翔大	178	83	2004/04/11	日本大学
10	山口 健太郎	181	80	2004/12/05	福岡工業大学
11	井上 達木	173	72	2005/08/16	筑波大学



参加監督・選手一覧表【女子】

北海道					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	平野 智彦			1972/07/05	(株)メディカルシステムネットワーク
1	三枝 千晃	167	69	1997/03/21	(株)メディカルシステムネットワーク
2	吉井 愛華	161	61	2002/02/14	(株)メディカルシステムネットワーク
③	吉田 鳳子	162	66	1999/04/07	(株)メディカルシステムネットワーク
4	浅野 柚奈	170	65	2006/06/06	札幌山の手高等学校
5	大竹 琉奈	159	64	2006/11/07	札幌山の手高等学校
6	鈴木 雅乃	154	50	2007/08/29	札幌山の手高等学校
7	佐藤 椿	159	54	2006/05/13	北海道中標津高等学校
8	松下 優花	157	67	2006/05/07	札幌山の手高等学校
9	野村 咲月	163	66	2004/12/28	北海道教育大学
10	村屋 莉子	171	70	2004/04/06	北海学園大学

青森県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	福田 国康			1974/06/20	青森県立北斗高等学校(教)
①	片岡 瑞帆	159	68	1994/10/11	(株)青南商事
2	松田 涼那	162	56	2005/06/14	日本経済大学
3	山形 詩織	163	87	1998/08/27	(株)青南商事
4	幅野 真子	150	52	1999/03/25	青森県立十和田工業高等学校(教)
5	鬼多見 友里愛	162	62	2001/02/10	(株)青南商事
6	古関 未来	162	52	2004/10/04	八戸学院大学
7	新居 里江子	160	60	2001/02/08	(株)青南商事
8	戸賀澤 亜美	163	73	2007/07/23	八戸学院光星高等学校
9	藤森 晶	165	65	1993/09/08	青森県ラグビーフットボール協会
10	石井 心悠	160	60	2006/11/15	青森県立三本木農業恵拓高等学校

栃木県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	石井 勝尉			1964/08/27	栃木県立佐野高等学校(教)
①	内海 春菜子	161	60	2000/03/16	YOKOHAMA TKM
2	田中 笑伊	168	66	1999/10/19	ながとブルーエンジェルス
3	小西 想羅	167	78	2000/02/21	ながとブルーエンジェルス
4	杉本 姫菜乃	169	75	2006/11/01	國學院大學栃木高等学校
5	久保 光里	164	60	1998/10/10	アザレア・セブン
6	渡邊 喬日	152	55	2001/02/03	データバンク株式会社
7	秋田 若菜	166	60	2003/02/24	自衛隊体育学校PTS
8	金濱 百花	161	61	2003/09/02	横河武蔵野アルテミスターズ
9	寺内 音和	158	56	2006/02/19	湘南ベルマーレBell7
10	兼松 明日香	151	50	2007/05/08	國學院大學栃木高等学校



神奈川県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	新原 響			1997/02/07	関学サービス
1	新原 響	156	58	1997/02/07	関学サービス
2	松永 美穂	172	72	1992/11/27	横浜未来看護専門学校(職)
③	寺谷 芽生	160	62	2003/05/30	早稲田大学
4	浅利 那未	171	62	2008/02/01	関東学院六浦高等学校
5	高橋 あいり	157	57	2006/05/01	関東学院六浦高等学校
6	伊藤 ちひろ	164	63	2007/07/15	関東学院六浦高等学校
7	齋藤 紗葉	160	59	2006/05/01	関東学院六浦高等学校
8	小川 愛夢	168	62	2004/12/19	法政大学
9	高橋 みひろ	155	57	2006/05/01	関東学院六浦高等学校
10	上野 花珠	156	56	2005/04/25	筑波大学
11	高田 明里	171	65	2006/09/24	関東学院六浦高校

石川県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	金島 敏士			1971/12/11	北陸エアターミナルビル(株)
1	鈴木 愛依子	157	51	2006/01/02	四国大学
②	金島 琉璃亜	160	57	1997/09/17	川崎幸病院
3	金島 瑠奈	162	58	2002/08/21	四国大学
4	西 真央	161	53	2002/04/02	四国大学
5	瀬尾 小晴	153	52	2003/11/02	富山大学
6	高瀬 爽	163	57	1998/01/08	エネックス株式会社
7	福岡 七音	152	50	2004/10/20	群馬大学
8	藤田 桃子	153	55	2002/03/22	能美市役所
9	古川 のぞみ	150	51	2008/07/23	日本航空高等学校石川
10	酒野 桃子	160	57	2008/10/18	石川県立金沢泉丘高等学校

三重県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	斎藤 久			1966/09/21	一般社団法人PEARLS
1	木下 そよ香	160	65	2000/05/18	住友電装株式会社
2	三輪 里佳	157	63	2000/03/24	九鬼産業株式会社
3	古屋 みず希	167	66	1999/09/07	住友電装株式会社
④	山中 美緒	156	56	1995/10/27	トヨタ自動車株式会社
5	庵奥 里愛	160	60	1996/10/02	住友電装株式会社
6	村田 彩乃	156	61	2001/12/01	株式会社リョーケンホールディングス
7	勝島 朱夏里	154	53	2005/08/16	住友電装株式会社
8	三谷 咲月	160	60	2000/05/09	明星大学
9	渡邊 希海	157	60	1999/05/07	すずらん診療所
10	渡辺 桜子	153	59	2001/03/30	コスモ石油株式会社



京都府

位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	橋本 照和			1963/01/10	一般社団法人京都府ラグビーフットボール協会
1	新井 実来	165	61	2000/07/26	YOKOHAMA TKM
②	長瀬 拓美	153	58	2002/06/03	ARUKASU QUEEN KUMAGAYA
3	小池 玉紗	152	52	2002/07/26	四国大学
4	向井 楓葉	153	53	2003/10/09	ARUKAS QUEEN KUMAGAYA
5	村田 美咲	158	61	2005/01/10	ARUKAS QUEEN KUMAGAYA
6	吉田 翠希	161	62	2005/06/22	三重大学
7	尾久土 栞	168	62	2006/09/08	京都成章高等学校
8	平野 ともな	152	47	2007/01/14	京都成章高等学校
9	亀山 日和	161	60	2006/06/01	京都成章高等学校
10	石垣 未夏美	155	56	2006/07/06	京都成章高等学校

大阪府

位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	天野 寛之			1958/08/05	大阪府ラグビーフットボール協会
1	好川 穂乃花	165	59	2004/04/21	追手門学院大学
2	辻 伶奈	164	67	2006/11/30	追手門学院高等学校
3	天野 花織	166	60	2006/04/03	追手門学院高等学校
4	津田 佳梨	156	54	2003/06/09	追手門学院大学
⑤	松下 小雪	161	55	2003/12/26	追手門学院大学
6	山口 みう	160	51	2004/09/06	追手門学院大学
7	一ノ瀬 葵	164	52	2008/09/12	追手門学院高等学校
8	長谷川 恵梨	166	59	2007/07/06	追手門学院高等学校
9	福井 優月	167	58	2007/11/22	追手門学院高等学校
10	辻 あかり	157	57	2007/07/02	追手門学院高等学校

山口県

位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	中村 龍夫			1953/01/05	山口県ラグビーフットボール協会
1	東 あかり	163	60	2001/07/19	ヤマネ鉄工建設株式会社
②	坪井 美月	156	60	1999/06/30	ヤマネ鉄工建設株式会社
3	藤崎 春菜	163	68	1997/03/31	ヤマネ鉄工建設株式会社
4	辰己 裕有希	159	60	1999/10/04	ヤマネ鉄工建設株式会社
5	大内田 優月	157	57	2001/03/04	山口大学
6	大谷 芽生	158	58	2000/05/28	ヤマネ鉄工建設株式会社
7	平野 優芽	160	60	2000/03/15	ヤマネ鉄工建設株式会社
8	室越 香南	158	58	2000/08/03	ヤマネ鉄工建設株式会社
9	井上 藍	160	56	1999/05/10	ヤマネ鉄工建設株式会社
10	辻崎 由希乃	161	60	1994/06/21	ヤマネ鉄工建設株式会社



徳島県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	天羽 誠二			1968/06/21	鳴門渦潮高等学校(教)
1	板東 美結	159	51	2007/02/22	鳴門渦潮高等学校
2	吉岡 美音	158	57	2006/06/22	鳴門渦潮高等学校
3	折目 真咲	161	53	2006/06/09	鳴門渦潮高等学校
4	潰田 有紀	165	65	2006/10/04	鳴門渦潮高等学校
5	藤村 里奈	161	56	2008/02/23	鳴門渦潮高等学校
6	尾崎 楓音	153	50	2007/09/21	鳴門渦潮高等学校
7	川辺 涼	157	52	2008/02/09	鳴門渦潮高等学校
8	吉田 朝陽	161	56	2008/05/07	鳴門渦潮高等学校
9	加藤 芽衣	157	57	2001/05/08	鳴門教育大学
⑩	日下 寧々	157	55	2000/08/16	キリンビール

福岡県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	平野 勉			1965/07/08	九電産業(株)
1	小笹 知美	172	68	1991/11/21	ナナイロプリズム福岡
2	草野 可凜	156	61	1995/12/16	ナナイロプリズム福岡
3	梶木 真凜	164	68	1999/09/20	自衛隊体育学校
4	永田 花菜	169	58	2000/05/19	ナナイロプリズム福岡
⑤	吉野 舞祐	159	56	2001/06/23	ナナイロプリズム福岡
6	中村 知春	164	68	1988/04/25	ナナイロプリズム福岡
7	米村 妃菜	161	55	2003/01/29	九州産業大学
8	大内田 葉月	162	60	2006/07/03	福岡県立修猷館高等学校
9	西郷 侑菜	167	63	2002/02/12	ナナイロプリズム福岡
10	中山 花のん	159	62	2003/08/01	久留米大学

佐賀県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	勤務先
監督	堤 ほの花			1997/06/19	ディックソリューションエンジニアリング
1	伊礼門 千珠	152	60	2007/02/18	佐賀工業高等学校
2	森 瑞葵	164	66	2006/05/15	佐賀工業高等学校
3	松川 美麗	156	54	2006/05/10	佐賀工業高等学校
4	豊島 愛実	161	60	2006/10/19	佐賀工業高等学校
5	近藤 きらら	161	57	2001/10/10	自衛隊体育学校
⑥	山領 一花	153	55	2002/04/06	久留米大学
7	谷山 三菜子	163	58	2005/04/03	日本体育大学
8	片岡 詩	165	63	2004/04/23	ディックソリューションエンジニアリング
9	堤 ほの花	153	56	1997/06/19	ディックソリューションエンジニアリング
10	岡本 奈那	158	60	2005/04/20	東京農業大学
11	町田 美陽	172	85	2004/05/26	日本経済大学



参加監督・選手一覧表【少年男子】

北海道						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	岸 本 泰 輔			1976/12/26	北海道大麻高等学校(教)	
1	白 幡 墨 斗	176	106	2006/09/12	札幌山の手高等学校	
②	古 谷 飛 翔	173	103	2006/04/28	札幌山の手高等学校	
3	林 春 翔	173	106	2006/04/10	札幌山の手高等学校	
4	吉 川 昌 宗	187	91	2007/03/11	札幌山の手高等学校	
5	関 崎 温 太	174	93	2006/04/06	札幌山の手高等学校	
6	和 田 仁	168	86	2006/07/31	札幌山の手高等学校	
7	丸 山 隼 太	171	84	2007/05/22	札幌山の手高等学校	
8	タレマイトガ ウルイラケバ	178	100	2007/02/17	札幌山の手高等学校	
9	小 原 詩 音	162	69	2006/08/17	札幌山の手高等学校	
10	小 野 寛 太	174	78	2007/06/07	札幌山の手高等学校	
11	秋 山 拓 哉	173	85	2006/08/08	札幌山の手高等学校	
12	中 山 稜 斗	172	79	2007/01/07	札幌山の手高等学校	
13	戸 田 勝 斗	173	86	2006/08/15	札幌山の手高等学校	
14	白 石 呂 偉	176	73	2006/05/10	北海道中標津高等学校	
15	千 葉 煌 生	178	78	2006/05/06	札幌山の手高等学校	
16	吉 村 武 士	178	112	2006/09/03	札幌山の手高等学校	
17	佐 藤 彪 斗	165	89	2006/05/10	札幌山の手高等学校	
18	藤 田 正 大	182	108	2006/07/24	札幌山の手高等学校	
19	村 上 敦 洋	180	82	2006/04/07	北海道羽幌高等学校	
20	大 川 武 琉	179	97	2007/11/27	札幌山の手高等学校	
21	坂 口 瑚 虎	165	60	2006/05/12	旭川龍谷高等学校	
22	岩 崎 真 浩	183	95	2006/12/05	立命館慶祥高等学校	
23	片 山 琉 雅	176	74	2006/07/24	北海道芦別高等学校	

宮城県						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	長 尾 豊			1972/08/23	利府高等学校(教)	
1	藤 本 らいせ	166	96	2006/04/17	仙台育英学園高等学校	
2	大 森 悠 音	173	90	2006/10/27	仙台育英学園高等学校	
3	佐 藤 大 翔	176	100	2006/07/06	仙台育英学園高等学校	
4	千 葉 廉 也	182	90	2006/11/20	佐沼高等学校	
5	小野寺 琥太郎	178	90	2006/06/21	仙台育英学園高等学校	
6	渡 邊 想 芦	174	82	2006/09/27	佐沼高等学校	
7	飯 島 慎太郎	181	98	2008/01/06	仙台育英学園高等学校	
⑧	小 島 寿 人	175	85	2006/07/15	利府高等学校	
9	山 下 丈 二	176	75	2006/11/12	仙台育英学園高等学校	
10	佐々木 遼 河	170	72	2006/05/06	仙台育英学園高等学校	
11	佐々木 温 音	177	80	2007/03/22	利府高等学校	
12	佐々木 悠 斗	165	74	2007/01/29	佐沼高等学校	
13	佐 藤 巧 征	171	74	2006/09/29	仙台育英学園高等学校	
14	川 村 健 介	173	70	2006/10/27	仙台育英学園高等学校	
15	齊 藤 慧 士郎	173	73	2006/09/27	仙台第三高等学校	
16	星 祐 太	170	93	2006/10/04	佐沼高等学校	
17	上 野 大 和	177	82	2006/07/26	佐沼高等学校	
18	佐々木 開 地	175	93	2007/07/15	佐沼高等学校	
19	石 井 宏 宙	173	85	2006/09/05	仙台育英高等学校	
20	高 橋 耕 太	171	79	2006/04/17	仙台育英学園高等学校	
21	岩 田 拓	164	56	2007/10/27	仙台育英学園高等学校	
22	佐 藤 証 成	172	86	2006/06/19	佐沼高等学校	
23	二 上 伊 織	170	86	2008/01/23	仙台育英学園高等学校	



神奈川県						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	浜 倉 裕 也			1986/10/18	湘南工科大学附属高等学校(教)	
1	谷 本 幹 太	175	102	2006/09/13	桐蔭学園高等学校	
2	矢 澤 翼	162	84	2007/02/19	東海大学付属相模高等学校	
3	石 原 遼	173	96	2006/12/20	桐蔭学園高等学校	
4	佐 藤 龍之介	182	87	2007/02/02	桐蔭学園高等学校	
5	西 野 誠一朗	184	91	2007/01/22	桐蔭学園高等学校	
6	小 池 颯 太	182	92	2006/04/20	東海大学付属相模高等学校	
⑦	申 驥 世	175	95	2006/05/17	桐蔭学園高等学校	
8	藤久保 陸	181	100	2006/07/17	東海大学付属相模高等学校	
9	後 藤 快 斗	164	65	2006/07/19	桐蔭学園高等学校	
10	長 濱 堅	182	85	2006/09/02	東海大学付属相模高等学校	
11	恩 田 暖	170	72	2006/04/25	東海大学付属相模高等学校	
12	松 本 桂 太	171	80	2006/04/24	桐蔭学園高等学校	
13	徳 山 凌 聖	173	79	2006/10/10	桐蔭学園高等学校	
14	石 崎 悠 生	180	80	2006/12/16	桐蔭学園高等学校	
15	五 島 悠 翔	184	78	2007/01/25	東海大学付属相模高等学校	
16	鈴 木 成 透	172	98	2007/03/12	日本大学藤沢高等学校	
17	金 澤 壱 樹	175	86	2006/12/18	東海大学付属相模高等学校	
18	佐 野 零 樹	180	110	2006/08/30	東海大学付属相模高等学校	
19	加賀谷 太 惟	188	97	2006/10/05	東海大学付属相模高等学校	
20	岸 野 暖 士	174	81	2006/10/04	湘南工科大附属高等学校	
21	紺 谷 隼太郎	172	69	2006/10/16	東海大学付属相模高等学校	
22	富 澤 凜太朗	167	77	2007/01/16	法政大学第二高等学校	
23	小 林 祐 貴	168	76	2008/02/19	慶應義塾高等学校	

東京都						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	野 口 友 輔			1972/02/09	東京都立府中西高等学校(教)	
1	土 屋 裕 資	176	98	2006/09/16	國學院大學久我山高等学校	
2	笠 井 大 志	171	101	2006/06/12	國學院大學久我山高等学校	
3	岩 崎 壯 志	178	106	2007/08/16	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	
4	フィッシャー 慶 音	182	85	2007/01/03	目黒学院高等学校	
5	吉 澤 輝	184	108	2007/06/08	國學院大學久我山高等学校	
6	内 藤 公 耀	183	78	2006/12/14	國學院大學久我山高等学校	
7	小 林 商太郎	174	99	2006/10/03	早稲田大学高等学院	
⑧	齊 藤 源 輝	180	89	2006/07/03	東京高等学校	
9	渡 邊 幹 太	165	66	2007/05/17	目黒学院高等学校	
10	齋 藤 航	170	81	2006/08/14	國學院大學久我山高等学校	
11	河 村 和 樹	175	85	2007/04/08	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	
12	山 口 滉太郎	182	85	2006/06/19	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	
13	宮 下 隼	171	71	2007/08/23	國學院大學久我山高等学校	
14	藤 浪 成 那	173	98	2007/09/28	國學院大學久我山高等学校	
15	彦 坂 朔太郎	172	96	2006/07/11	目黒学院高等学校	
16	吉 田 龍 平	173	108	2007/07/28	國學院大學久我山高等学校	
17	益 田 遥 眞	180	97	2006/08/18	東京高等学校	
18	森 将太郎	185	94	2006/10/31	國學院大學久我山高等学校	
19	石 掛 諒 眞	170	81	2006/07/16	目黒学院高等学校	
20	石 岡 温	170	64	2007/01/16	國學院大學久我山高等学校	
21	西 部 宇 竜	173	81	2006/11/21	國學院大學久我山高等学校	
22	中 村 理 応	181	84	2007/12/18	目黒学院高等学校	
23	園 部 心 大	175	79	2006/05/09	早稲田大学系属早稲田実業学校高等部	



石川県						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	紙谷直樹			1967/07/18	日本航空高等学校石川(教)	
1	尾芝樹心	175	100	2008/03/30	日本航空高等学校石川	
2	川上聖翔	175	100	2006/08/25	日本航空高等学校石川	
3	竹田充希	180	100	2007/08/19	石川県立鶴来高等学校	
4	アルメイダ 聖	188	100	2006/05/09	日本航空高等学校石川	
5	立松大	184	80	2007/03/10	日本航空高等学校石川	
6	北山獅旺	172	80	2006/08/19	日本航空高等学校石川	
7	ランギ エドウィン	191	121	2007/09/18	日本航空高等学校石川	
8	渡邊翔太	164	63	2006/10/04	日本航空高等学校石川	
9	小嶋真心	170	73	2006/07/03	日本航空高等学校石川	
10	大土井慧賀	167	65	2008/01/07	日本航空高等学校石川	
⑪	上野魁心	174	85	2006/11/09	日本航空高等学校石川	
12	横山敢大	175	80	2007/03/30	日本航空高等学校石川	
13	西川剛生	173	70	2006/08/21	日本航空高等学校石川	
14	田島翔大	170	65	2007/04/26	石川県立鶴来高等学校	
15	岡田豊隆	182	103	2007/01/12	日本航空高等学校石川	
16	竹村人生	175	93	2007/04/27	日本航空高等学校石川	
17	馬医和輝	175	88	2007/07/09	日本航空高等学校石川	
18	飯澤慶大	186	91	2006/11/09	日本航空高等学校石川	
19	田中海来	173	65	2007/03/07	日本航空高等学校石川	
20	岡本勇志	166	75	2006/08/31	日本航空高等学校石川	
21	横山隼斗	170	99	2006/04/06	日本航空高等学校石川	
22	薄雲拓未	171	72	2007/08/25	日本航空高等学校石川	
23	江口凜太郎	182	90	2008/07/21	日本航空高等学校石川	

愛知県						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	二木久善			1982/08/13	名古屋高等学校(教)	
1	鬼頭慶	170	73	2006/09/07	中部大学春日丘高等学校	
2	川上朗	172	85	2007/03/16	栄徳高等学校	
3	多川慶次郎	184	97	2007/01/28	栄徳高等学校	
4	藤木陽斗	181	91	2006/09/26	栄徳高等学校	
5	説田万次郎	178	76	2006/11/06	名古屋市立西陵高等学校	
6	大原麟	175	80	2007/03/31	中部大学春日丘高等学校	
7	大宮悠希	172	102	2007/02/27	中部大学春日丘高等学校	
⑧	川島大虎	176	102	2006/07/25	中部大学春日丘高等学校	
9	川畑颯馬	167	97	2006/12/25	中部大学春日丘高等学校	
10	神取千裕	170	85	2006/07/13	中部大学春日丘高等学校	
11	榊原柔太	179	85	2006/07/08	中部大学春日丘高等学校	
12	窪田歩	170	72	2006/06/26	名古屋高等学校	
13	内藤佑也	184	81	2006/09/05	名古屋高等学校	
14	西田伊吹	174	93	2006/10/06	名古屋高等学校	
15	西山竜矢	174	97	2006/11/07	名古屋高等学校	
16	矢野倅涼	179	92	2006/08/22	名古屋高等学校	
17	齊藤千侑	170	80	2007/03/13	名古屋市立西陵高等学校	
18	西田勝多	175	78	2006/08/21	名古屋高等学校	
19	末吉快	173	68	2006/08/14	愛知県立旭野高等学校	
20	市原広大	182	90	2006/11/30	同朋高等学校	
21	松久瑠位	170	70	2007/03/22	名古屋高等学校	
22	高橋秀明	166	68	2006/10/12	中部大学春日丘高等学校	
23	水野竜之介	172	98	2006/08/31	同朋高等学校	



奈良県						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	竹田寛行			1960/05/08	奈良県立御所実業高等学校(教)	
1	長船銀次	175	102	2006/04/06	奈良県立御所実業高等学校	
2	津村晃志	175	90	2007/06/20	奈良県立御所実業高等学校	
3	芳賀空	180	106	2006/06/12	奈良県立御所実業高等学校	
4	服部鳳真	184	109	2006/05/10	奈良県立御所実業高等学校	
5	黒木新夢	190	100	2006/04/13	奈良県立御所実業高等学校	
6	辻口豪都	182	80	2006/09/01	奈良県立御所実業高等学校	
7	中山太翔	181	103	2008/05/27	奈良県立御所実業高等学校	
8	本多守人	177	100	2006/04/26	奈良県立御所実業高等学校	
9	徳重隼	170	68	2006/04/16	奈良県立御所実業高等学校	
10	中俣翔太	172	71	2007/09/22	奈良県立御所実業高等学校	
11	篠田武志	175	82	2006/05/09	奈良県立御所実業高等学校	
12	真鍋逸平	185	85	2006/09/01	奈良県立御所実業高等学校	
13	若山遥斗	180	81	2006/04/22	奈良県立御所実業高等学校	
⑭	新晴人	170	84	2006/04/18	奈良県立御所実業高等学校	
15	上田悠真	175	71	2006/05/10	奈良県立御所実業高等学校	
16	仲井陸人	168	88	2008/03/23	奈良県立御所実業高等学校	
17	藤井威吹	183	115	2007/06/12	奈良県立御所実業高等学校	
18	村田皓二郎	173	90	2008/02/27	奈良県立御所実業高等学校	
19	押野虎太朗	180	90	2007/08/30	奈良県立御所実業高等学校	
20	中島柊太	174	87	2008/02/26	奈良県立御所実業高等学校	
21	藤澤幸謙	162	61	2007/08/25	奈良県立御所実業高等学校	
22	坂本亮	181	85	2006/06/24	奈良県立御所実業高等学校	
23	富田琉生	164	63	2007/07/10	奈良県立御所実業高等学校	

兵庫県						
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名	
監督	村山太我			1985/12/25	兵庫県立伊丹高等学校(教)	
1	植浦駿介	169	90	2006/08/10	関西学院高等部	
2	野村怜央	171	98	2006/08/15	報徳学園高等学校	
3	川越寛太	181	109	2006/09/22	関西学院高等部	
4	古川榛之介	183	77	2006/06/16	報徳学園高等学校	
5	藤本涼雅	180	93	2006/11/26	関西学院高等部	
6	上ノ坊友騎	172	78	2006/09/19	尼崎市立尼崎高等学校	
7	米澤泰成	173	84	2006/08/07	神戸市立神戸科学技術高等学校	
⑧	西本龍太	182	90	2006/07/18	報徳学園高等学校	
9	金岡哲太	167	63	2006/05/25	報徳学園高等学校	
10	木山仁平	172	81	2007/08/29	関西学院高等部	
11	長一輝	173	71	2007/06/29	報徳学園高等学校	
12	成田陸	172	75	2006/05/11	関西学院高等部	
13	福本亘	171	80	2007/03/22	報徳学園高等学校	
14	大城健富	170	70	2007/08/01	報徳学園高等学校	
15	タウファ テビタ悦幸	182	85	2006/05/08	報徳学園高等学校	
16	柏原弘季	170	92	2006/12/05	報徳学園高等学校	
17	布施幸之助	172	98	2006/07/03	関西学院高等部	
18	玉水天規	177	100	2006/10/19	報徳学園高等学校	
19	上原大尚	182	96	2007/04/29	報徳学園高等学校	
20	山口鉄心	173	89	2008/01/16	報徳学園高等学校	
21	日比野陽穂	166	63	2007/04/11	報徳学園高等学校	
22	有村昇祐	176	83	2006/07/28	神戸市立神戸科学技術高等学校	
23	寺本大睦	173	78	2007/03/20	報徳学園高等学校	



島根県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名
監督	持田 徹			1968/02/24	島根県立出雲工業高等学校(教)
1	岩谷 竜太郎	171	97	2006/09/03	石見智翠館高等学校
②	祝原 久温	180	101	2006/11/14	石見智翠館高等学校
3	宮本 将司	175	110	2006/10/05	石見智翠館高等学校
4	山本 力優	180	94	2006/10/06	石見智翠館高等学校
5	山根 風雅	180	94	2006/07/21	石見智翠館高等学校
6	赤木 脩仁	177	85	2006/04/02	石見智翠館高等学校
7	沼 壱希	170	89	2006/04/18	石見智翠館高等学校
8	神保 友海	175	82	2006/09/12	石見智翠館高等学校
9	柴崎 允希	168	68	2006/11/27	石見智翠館高等学校
10	新井 竜之介	177	72	2006/10/21	石見智翠館高等学校
11	久富 洋希	171	78	2007/03/15	石見智翠館高等学校
12	原田 崇良	171	75	2006/05/14	石見智翠館高等学校
13	溝端 琉碧	167	80	2007/03/07	石見智翠館高等学校
14	近藤 漣汰	180	81	2007/02/25	石見智翠館高等学校
15	久住 誓蓮	175	80	2006/06/19	石見智翠館高等学校
16	笹田 尽作	164	90	2006/06/13	石見智翠館高等学校
17	平島 拓真	170	95	2006/07/10	石見智翠館高等学校
18	橋口 幹太	171	99	2007/02/03	石見智翠館高等学校
19	小瀬村 凜	176	87	2006/12/24	石見智翠館高等学校
20	難波 剛司	167	64	2008/03/05	石見智翠館高等学校
21	板野 拓友	173	80	2006/04/12	石見智翠館高等学校
22	久住 洗誓	175	86	2007/05/28	石見智翠館高等学校
23	中尾 楨之介	170	87	2007/11/21	石見智翠館高等学校

愛媛県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名
監督	渡辺 悠太			1988/04/21	松山聖陵高等学校(教)
1	村木 元亮	166	90	2008/02/02	松山聖陵高等学校
2	熊野 翔夢	168	92	2006/12/16	松山聖陵高等学校
3	濱田 翔大	175	115	2007/12/26	松山聖陵高等学校
4	原田 樹	180	94	2007/08/22	松山聖陵高等学校
5	宮本 空	181	92	2007/05/15	松山聖陵高等学校
6	坪内 将太郎	176	72	2007/09/16	松山聖陵高等学校
7	甲斐 八希	168	90	2007/06/11	松山聖陵高等学校
8	檜本 拓未	175	85	2006/11/21	松山聖陵高等学校
9	古川 仁	158	62	2006/05/09	松山聖陵高等学校
⑩	芳野 修	171	80	2006/06/20	松山聖陵高等学校
11	市川 優大	160	60	2006/09/16	松山聖陵高等学校
12	宮崎 開久	173	70	2007/03/30	松山聖陵高等学校
13	阿塚 心	181	100	2007/04/18	松山聖陵高等学校
14	眞鍋 希天	172	72	2006/08/29	愛媛県立三島高等学校
15	田畑 匠道	169	78	2007/09/05	松山聖陵高等学校
16	矢出 真士	175	92	2007/08/11	松山聖陵高等学校
17	森田 聖斗	176	95	2008/01/17	松山聖陵高等学校
18	牧 隼	181	120	2007/06/05	松山聖陵高等学校
19	南 陽世	173	97	2008/02/21	松山聖陵高等学校
20	鷺森 大晟	164	75	2006/12/28	松山聖陵高等学校
21	大野 瑛介	175	76	2006/10/29	新田高等学校
22	菰田 麟太郎	174	70	2007/03/03	愛媛県立三島高等学校
23	小田 鯉太郎	175	70	2007/03/18	松山聖陵高等学校



大分県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名
監督	白田 誠明			1976/04/09	大分東明高等学校(教)
1	横山 衛	175	98	2006/05/10	大分東明高等学校
2	阪口 豪之介	173	89	2006/12/08	大分東明高等学校
3	平山 風希	180	125	2007/01/22	大分東明高等学校
④	石川 波潤	176	88	2007/02/09	大分東明高等学校
5	佐藤 英翔	180	95	2006/05/22	大分県立大分舞鶴高等学校
6	興梠 俊平	171	80	2006/09/07	大分東明高等学校
7	尾形 仁	174	90	2006/10/03	大分東明高等学校
8	石井 颯太	188	100	2008/08/03	大分東明高等学校
9	斜木 莉士	163	63	2006/12/13	大分東明高等学校
10	石川 徠人	177	81	2007/02/09	大分東明高等学校
11	石田 翔	173	85	2006/11/27	大分東明高等学校
12	川口 慧大	172	80	2006/08/06	大分東明高等学校
13	吉田 幹太	181	85	2006/08/17	大分東明高等学校
14	下川 悠輝	175	72	2007/03/17	大分東明高等学校
15	田中 勝斗	172	78	2007/08/17	大分東明高等学校
16	鶴田 英士	171	92	2007/05/22	大分東明高等学校
17	武田 悠雅	172	85	2007/09/28	大分東明高等学校
18	西垣 眞之介	177	103	2006/11/22	大分県立大分舞鶴高等学校
19	渡邊 愛斗	172	82	2007/07/17	大分東明高等学校
20	黒岩 稜	170	70	2007/11/16	大分東明高等学校
21	山本 愛翔	172	75	2008/07/29	大分東明高等学校
22	サ ナ イ ラ ロコトウイブナ	181	83	2008/01/30	大分県立大分舞鶴高等学校
23	安藤 佑真	170	73	2007/07/28	大分東明高等学校

佐賀県					
位置	氏名	身長	体重	生年月日	学校名
監督	枝吉 巨樹			1975/09/19	佐賀県立佐賀工業高等学校(教)
1	川島 赳瑠	175	97	2007/04/15	佐賀県立佐賀工業高等学校
2	片渕 築	170	98	2006/06/18	佐賀県立佐賀工業高等学校
3	真鍋 二郎	182	111	2007/03/18	佐賀県立佐賀工業高等学校
4	金井田 頼斗	182	87	2006/07/15	佐賀県立佐賀工業高等学校
5	山田 哲平	181	80	2007/06/02	佐賀県立佐賀工業高等学校
6	林田 侑也	178	80	2007/03/19	佐賀県立佐賀工業高等学校
7	仮屋園 煌	171	72	2007/07/19	佐賀県立佐賀工業高等学校
⑧	中辻 大凱	178	103	2007/01/01	佐賀県立佐賀工業高等学校
9	宮崎 銀之助	163	53	2008/06/05	佐賀県立佐賀工業高等学校
10	岩田 大司	174	80	2006/09/04	佐賀県立佐賀工業高等学校
11	塚本 翼	165	68	2006/07/15	佐賀県立佐賀工業高等学校
12	内田 慎之甫	168	70	2006/07/06	佐賀県立佐賀工業高等学校
13	溝上 秀斗	172	70	2007/02/10	佐賀県立佐賀工業高等学校
14	中島 弘登	166	60	2007/03/20	佐賀県立佐賀工業高等学校
15	川原 悠悟	180	75	2006/09/10	佐賀県立佐賀工業高等学校
16	秀島 聡太郎	182	105	2007/05/01	佐賀県立佐賀工業高等学校
17	藤山 大翔	170	92	2008/02/22	佐賀県立佐賀工業高等学校
18	長與 璃空	178	82	2007/07/01	佐賀県立佐賀工業高等学校
19	寺原 周希	165	65	2007/09/11	佐賀県立佐賀工業高等学校
20	五十川 陸翔	165	65	2007/09/02	佐賀県立佐賀工業高等学校
21	中村 元泰	165	63	2007/06/01	佐賀県立佐賀工業高等学校
22	岩屋 武琉	178	70	2008/02/18	佐賀県立佐賀工業高等学校
23	山口 大晴	167	74	2006/04/03	佐賀県立佐賀工業高等学校

ブロック大会成績表【成年男子】

東北ブロック

プール	秋田県	青森県	山形県	岩手県	宮城県	福島県	順位
秋田県	—	●14-21	○42-0	○33-14	○35-12	○45-0	2
青森県	○21-14	—	○35-5	○19-12	○26-5	○38-0	1
山形県	●0-42	●5-35	—	●0-36	●0-42	○19-14	5
岩手県	●14-33	●12-19	○36-0	—	○17-0	○17-12	3
宮城県	●12-35	●5-26	○42-0	●0-17	—	○38-7	4
福島県	●0-45	●0-38	●14-19	●12-17	●7-38	—	6

リーグ戦1位:青森県が本国スポ出場

北海道(北海道ブロック)及び
佐賀県(開催地)が本国スポ出場

関東ブロック

Aグループ	東京都	千葉県	神奈川県	山梨県	順位
東京都	—	○26-19	○35-10	●21-31	2
千葉県	●19-26	—	○38-12	○21-14	1
神奈川県	●10-35	●12-38	—	●12-27	4
山梨県	○31-21	●14-21	○27-12	—	3

Aグループ1位:千葉県
Bグループ1位:茨城県
2チームが本国スポ出場

Bグループ	栃木県	埼玉県	茨城県	群馬県	順位
栃木県	—	○26-7	●20-31	○35-12	3
埼玉県	●7-26	—	●7-38	●7-55	4
茨城県	○31-20	○38-7	—	○33-19	1
群馬県	●12-35	○55-7	○19-33	—	2

北信越ブロック

	新潟県	長野県	福井県	富山県	石川県	順位
新潟県	—	○41-0	○21-7	○34-0	○43-5	1
長野県	●0-41	—	○26-5	○38-7	○12-7	2
福井県	●7-21	●5-26	—	●12-26	○28-7	3
富山県	●0-34	●7-38	○26-12	—	●21-31	5
石川県	●5-43	●7-12	●7-28	○31-21	—	4

リーグ戦1位:新潟県が本国スポ出場

東海ブロック

	三重県	静岡県	愛知県	岐阜県	順位
三重県	—	○38-7	●15-21	○26-12	2
静岡県	●7-38	—	●5-52	○36-7	3
愛知県	○21-15	○52-5	—	○54-0	1
岐阜県	●12-26	●7-36	●0-54	—	4

リーグ戦1位:愛知県が本国スポ出場

近畿ブロック

Aブロック	滋賀県	奈良県	兵庫県	順位
滋賀県	—	○42-0	○26-14	1
奈良県	●0-42	—	●17-19	3
兵庫県	●14-26	○19-17	—	2

Bブロック	大阪府	和歌山県	京都府	順位
大阪府	—	●7-19	●21-33	3
和歌山県	○19-7	—	○28-5	1
京都府	○33-21	●5-28	—	2

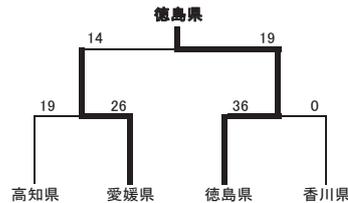
Aブロック1位:滋賀県
Bブロック1位:和歌山県
2チームが本国スポ出場

中国ブロック

	岡山県	広島県	山口県	鳥取県	島根県	順位
岡山県	—	5-45	○22-7	○26-0	○55-0	2
広島県	○45-5	—	○19-5	○33-7	○55-0	1
山口県	●7-22	●5-19	—	○36-0	○47-0	3
鳥取県	●0-26	●7-33	●0-36	—	○29-0	4
島根県	●0-55	●0-55	●0-47	●0-29	—	5

リーグ戦1位:広島県が本国スポ出場

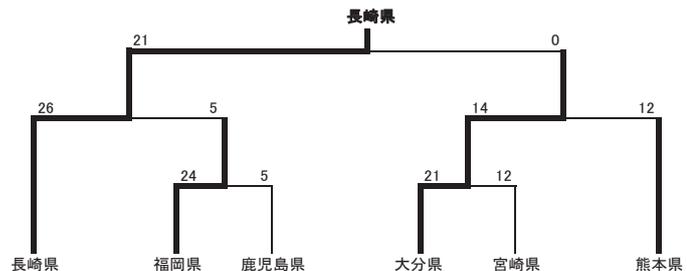
四国ブロック



九州ブロック

Aグループ	大分県	福岡県	長崎県	沖縄県	順位
大分県	—	○31-12	●17-33	—	2
福岡県	●12-31	—	—	○31-14	3
長崎県	○33-17	—	—	○26-7	1
沖縄県	—	●14-31	●7-26	—	4

Bグループ	鹿児島県	宮崎県	熊本県	順位
鹿児島県	—	○24-15	●5-35	2
宮崎県	●15-24	—	●7-24	3
熊本県	○35-7	○24-7	—	1



上記の他に、北海道(北海道ブロック)、佐賀県(開催地)が本国スポ出場



ブロック大会成績表【女子】

東北ブロック

	福島県	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	順位
福島県		●7-22	○22-5	○17-7	○20-0	2
青森県	○22-7		○42-5	○22-7	○35-5	1
岩手県	●5-22	●5-42		●17-29	○22-12	4
宮城県	●7-17	●7-22	○29-17		○22-0	3
秋田県	●0-20	●5-35	●12-22	●0-22		5

リーグ戦1位:青森県が本国スポへ出場

北海道(北海道ブロック)及び
佐賀県(開催地)が本国スポ出場

関東ブロック

Aグループ	埼玉県	千葉県	山梨県	栃木県	順位
埼玉県		○31-0	○55-0	●10-35	2
千葉県	●0-31		○36-0	●12-39	3
山梨県	●0-55	●0-36		●0-46	4
栃木県	○35-10	○39-12	○46-0		1

Aグループ1位:栃木県
Bグループ1位:神奈川県
2チームが本国スポ出場

Bグループ	神奈川県	茨城県	東京都	群馬県	順位
神奈川県		○38-5	○38-0	○43-0	1
茨城県	●5-38		●10-31	○38-7	3
東京都	●0-38	○31-10		○27-0	2
群馬県	●0-43	●7-38	●0-27		4

北信越ブロック

	福井県	長野県	新潟県	富山県	石川県	順位
福井県		●5-31	●7-55	●0-45	●0-52	5
長野県	○31-5		●7-34	●7-19	●7-33	4
新潟県	○55-7	○34-7		○31-5	●17-26	2
富山県	○45-0	○19-7	●5-31		●0-29	3
石川県	○52-0	○33-7	○26-17	○29-0		1

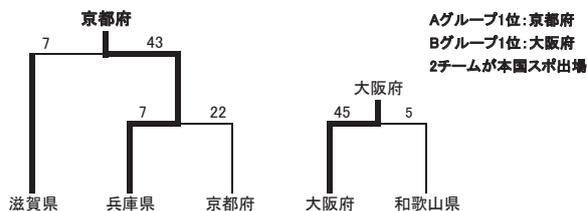
リーグ戦1位:石川県が本国スポ出場

東海ブロック

	岐阜県	愛知県	静岡県	三重県	順位
岐阜県		●7-22	●7-17	●0-57	4
愛知県	○22-7		●21-24	●0-26	3
静岡県	○17-7	○24-21		●12-31	2
三重県	○57-0	○26-0	○31-12		1

リーグ戦1位:三重県が本国スポ出場

近畿ブロック



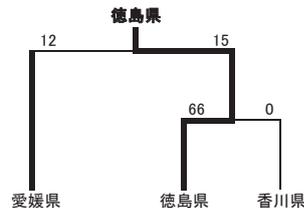
Aグループ1位:京都府
Bグループ1位:大阪府
2チームが本国スポ出場

中国ブロック

	岡山県	広島県	山口県	鳥取県	島根県	順位
岡山県		●7-33	●0-73	●棄権	●0-48	5
広島県	○33-7		●0-69	○26-0	●0-27	3
山口県	○73-0	○69-0		○61-0	○36-0	1
鳥取県	○棄権	●0-26	●0-61		●0-71	4
島根県	○48-0	○27-0	●0-36	○71-0		2

リーグ戦1位:山口県が本国スポ出場

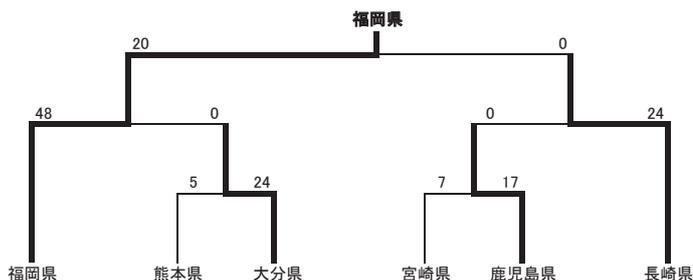
四国ブロック



九州ブロック

Aグループ	福岡県	熊本県	宮崎県	沖縄県	順位
福岡県		○69-0	○55-0	—	1
熊本県	●0-69		—	○24-17	3
宮崎県	●0-55	—		○35-10	2
沖縄県	—	●17-24	●10-35		4

Bグループ	長崎県	鹿児島県	大分県	順位
長崎県		○22-0	○31-0	1
鹿児島県	●0-22		●7-22	3
大分県	●0-31	○22-7		2

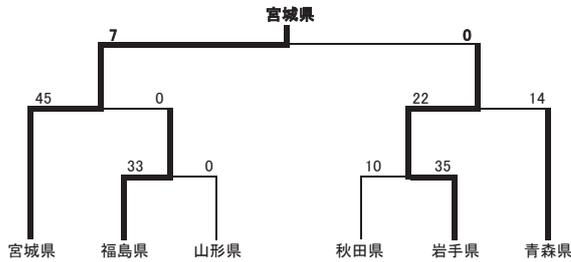


上記の他に、北海道(北海道ブロック)、佐賀県(開催地)が本国スポ出場



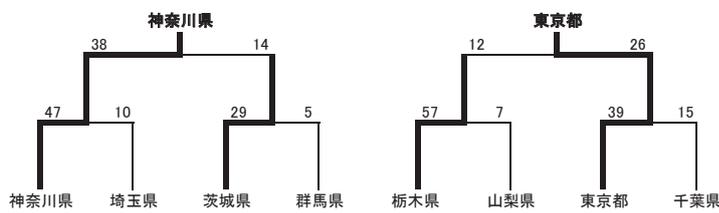
ブロック大会成績表【少年男子】

東北ブロック

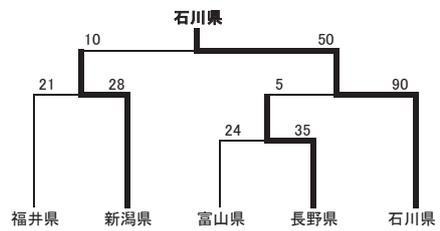


北海道(北海道ブロック)及び
佐賀県(開催地)が本国スポ出場

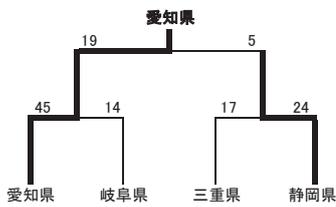
関東ブロック



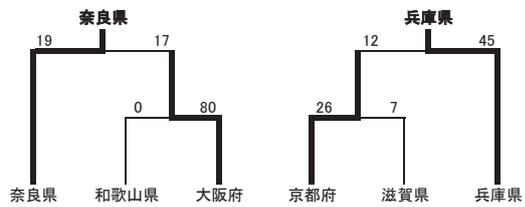
北信越ブロック



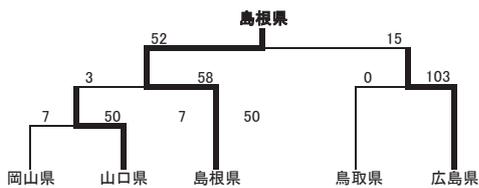
東海ブロック



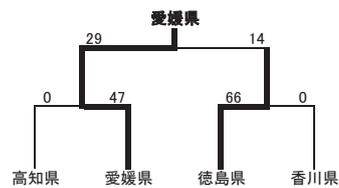
近畿ブロック



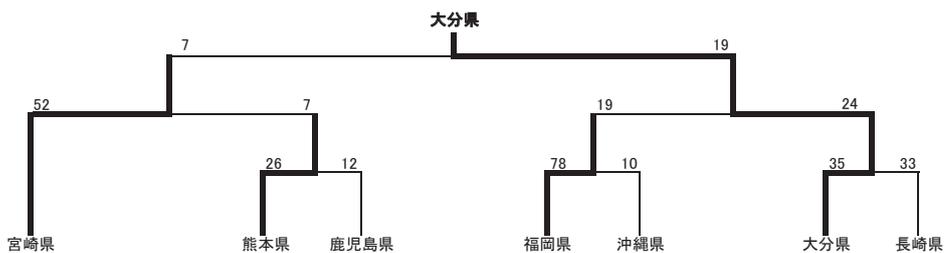
中国ブロック



四国ブロック



九州ブロック



上記の他に、北海道(北海道ブロック)、佐賀県(開催地)が本国スポ出場



都道府県別（種別）参加人数一覧表

		成年男子	女子	少年男子	合計	備考
1	北海道	11	11	24	46	
2	青森県	11	11		22	
3	岩手県					
4	宮城県			24	24	
5	秋田県					
6	山形県					
7	福島県					
8	茨城県	11			11	
9	栃木県		11		11	
10	群馬県					
11	埼玉県					
12	千葉県	11			11	
13	東京都			24	24	
14	神奈川県		11	24	35	
15	山梨県					
16	新潟県	11			11	
17	長野県					
18	富山県					
19	石川県		11	24	35	
20	福井県					
21	静岡県					
22	愛知県	11		24	35	
23	三重県		11		11	
24	岐阜県					
25	滋賀県	11			11	
26	京都府		11		11	
27	大阪府		11		11	
28	兵庫県			24	24	
29	奈良県			24	24	
30	和歌山県	11			11	
31	鳥取県					
32	島根県			24	24	
33	岡山県					
34	広島県	11			11	
35	山口県		11		11	
36	香川県					
37	徳島県	11	11		22	
38	愛媛県			24	24	
39	高知県					
40	福岡県		11		11	
41	佐賀県	11	11	24	46	
42	長崎県	11			11	
43	熊本県					
44	大分県			24	24	
45	宮崎県					
46	鹿児島県					
47	沖縄県					
	計	132	132	288	552	



年次別成績一覽表

回次	開催県名	実業団	中学校	高専	Op
1	京都	西(門司鉄道局)	西(神戸二中)	西(立命館専門)	関東
2	石川	九州(門司鉄道局) 東北(新鉄士崎工機部)	東北(函館市立中)		
回次	開催県名	一 般	高 校	教 員	壮年
3	福岡	福岡県(全福岡)	秋田県(秋田工)		
4	東京	東京都(全東京)	福岡県(修善館高)		
5	愛知	福岡県(全福岡)	秋田県(秋田工)		
6	広島	東京都(全東京)	秋田県(秋田工)		
7	宮城・山形・福島	福岡県(全福岡)	福岡県(福岡高)		
8	香川・高知・徳島・愛媛	福岡県(全福岡)	A熊本県(熊本工) B宮城県(石巻高) C東京都(保善高) D群馬県(高崎高)・北海道(北海高)		
9	北海道	福岡県(全福岡)	A神奈川県(慶応高) B秋田県(秋田工)		
10	神奈川	福岡県(全福岡)	A熊本県(熊本工) B群馬県(高崎高)		
11	兵庫	福岡県(全福岡)	A秋田県(秋田工) B東京都(保善高)		
12	静岡	福岡県(全福岡)	A秋田県(秋田工) B東京都(城北高)		
13	富山	福岡県(全福岡)	A秋田県(秋田工) B東京都(保善高)	東京都(東京教員クラブ)	大阪府(全大阪)
14	東京	京都府(京都市役所)	A東京都(保善高) B大阪府(興国商高)		
15	熊本	福岡県(全福岡)	A東京都(保善高) B秋田県(秋田工)		
16	秋田	福岡県(全福岡)	A秋田県(秋田工) B東京都(保善高)	大阪府(大阪教員クラブ)	
17	岡山	福岡県(全福岡)	A岩手県(盛岡工) B奈良県(天理高)	愛知県(愛知教員クラブ)	
18	山口	福岡県(八幡製鉄)	A東京都(保善高) B神奈川県(慶応高)	大阪府(大阪教員クラブ)	
19	新潟	愛知県(トヨタ自動車)	A東京都(保善高) B神奈川県(慶応高)	大阪府(大阪教員クラブ)	
20	岐阜	岩手県(富士製鉄)	A奈良県(天理高) B秋田県(秋田工)	大分県(大分教員クラブ)	
21	大分	愛知県(トヨタ自動車)	A東京都(保善高) B秋田県(秋田市立高)	岐阜県(岐阜教員クラブ)	
22	埼玉	岩手県(富士製鉄)	A新潟県(新潟工) B大分県(全大分)	岐阜県(岐阜教員クラブ)	
23	福井	岩手県(富士製鉄)	A秋田県(秋田工) B東京都(目黒高)	岐阜県(岐阜教員クラブ)	
24	長崎	愛知県(トヨタ自動車)	A秋田県(秋田工) B長崎県(諫早農)・新潟県(新潟工)	岐阜県(岐阜教員クラブ)	
25	岩手	東京都(全東京)	A秋田県(秋田高) B岩手県(全岩手)	岐阜県(岐阜教員クラブ)	
26	和歌山	岩手県(新日本製鉄)	A秋田県(秋田高) B岩手県(全岩手)	鹿児島県(鹿児島教員クラブ)	
27	鹿児島	岩手県(新日本製鉄)	A福岡県(全福岡) B東京都(目黒高)	千葉県(千葉教員クラブ)	
28	千葉	岩手県(新日本製鉄)	A岩手県(全岩手) B大分県(大分舞鶴)・広島県(広島工)	茨城県(茨城教員クラブ)	
29	茨城	東京都(リコー)	A京都府(花園高) B秋田県(秋田工)	三重県(三重教員クラブ)	
30	三重	愛知県(トヨタ自工)	A東京都(全東京) B岩手県(全岩手)	和歌山県(和歌山教員クラブ)	
31	佐賀		A東京都(全東京) B大阪府(大工大高)	大阪府(大阪教員クラブ)	
32	青森	岩手県(新日本製鉄)	A岩手県(全岩手) B京都府(全京都)		
回次	開催県名	成 年	少 年		
33	長野	群馬県(東京三洋電機)	A岩手県(全岩手) B秋田県(全秋田)		
34	宮崎	岩手県(新日本製鉄)	A東京都(全東京) B宮崎県(全宮崎)		
35	栃木	群馬県(東京三洋電機)	京都府(全京都)・大阪府(全大阪)		
36	滋賀	群馬県(東京三洋電機)	大阪府(全大阪)		
37	島根	岩手県(新日本製鉄)	東京都(全東京)		
38	群馬	東京都(東芝府中)	大阪府(全大阪)		
39	奈良	福岡県(全福岡)	奈良県(全奈良)		
40	鳥取	愛知県(トヨタ自動車)	埼玉県(全埼玉)		
41	山梨	東京都(東芝府中)	山梨県(全山梨)		
42	沖縄	山口県(日新製鋼)	京都府(全京都)		
回次	開催県名	成 年 男 子 1 部	成 年 男 子 2 部	少 年	
43	京都	群馬県(全群馬)	京都府(全京都)	大阪府(全大阪)	
44	北海道	山口県(日新製鋼)	京都府(全京都)	京都府(全京都)	
45	福岡	福岡県(全福岡)・群馬県(三洋電機)	福岡県(全福岡)	大阪府(全大阪)	
46	石川	愛知県(トヨタ自動車)	京都府(全京都)	大阪府(全大阪)	
47	山形	愛知県(トヨタ自動車)	秋田県(全秋田)	大阪府(全大阪)	
48	香川・徳島	愛知県(トヨタ自動車)	徳島県(全徳島)	島根県(全島根)	
49	愛知	兵庫県(ワールド)	愛知県(全愛知)	東京都(全東京)	
回次	開催県名	成 年 男 子	少 年 男 子	女 子	
50	福島	大阪府(全大阪)	長崎県(全長崎)		
51	広島	愛知県(全愛知)	福岡県(全福岡)		
52	大阪	愛知県(全愛知)	大阪府(全大阪)		
53	神奈川	千葉県(全千葉)	大阪府(全大阪)		
54	熊本	群馬県(群馬県代表)	大阪府(全大阪)		
55	富山	群馬県(全群馬)	長崎県(全長崎)		
56	宮城	愛知県(全愛知)	大阪府		
57	高知	埼玉県(セコム)	佐賀県		
58	静岡	静岡県(ヤマハ発動機)	埼玉県		
59	埼玉	埼玉県(セコム)	埼玉県		
60	岡山	三重県(本田技研工業)	大阪府		
61	兵庫	兵庫県(全兵庫)	大阪府		
62	秋田	秋田県(全秋田)	神奈川県		
63	大分	三重県(全三重)	福岡県		
64	新潟	新潟県(全新潟)	福岡県		
65	千葉	三重県(本田技研工業)	福岡県		
66	山口	愛知県(全愛知)	福岡県		
67	岐阜	三重県(全三重)	大阪府		
68	東京	東京都(全東京)	東京都		
69	長崎	佐賀県(全佐賀)	大阪府		
70	和歌山	愛知県(全愛知)	大阪府		
71	岩手	愛媛県(TEAM愛媛)	奈良県	埼玉県	
72	愛媛	東京都(全東京)	大阪府	福岡県	
73	福井		奈良県	大阪府	
74	茨城	三重県	福岡県	茨城県	
75	鹿児島	(中止)	(中止)	(中止)	
76	三重	(中止)	(中止)	(中止)	
77	栃木	三重県	福岡県	三重県	
特別	鹿児島	三重県	福岡県	埼玉県	



セブンスの見どころ (成年男子・女子7人制)

セブンスとは？

7人対7人で行うラグビーフットボールのことをセブンス (Sevens) という。15人制の試合と同じグラウンドサイズで、基本的に同じ競技規則によって行われる。

2016年夏季のリオ五輪から正式種目として採用されている。

試合時間は15人制に比べて短く、7分ハーフで行われることが多い。

ポジションはフォワード (FW) 3名とバックス (BK) 4名で形成される。フォワードはプロップ (PR) が2名、フッカー (HO) が1名、バックスはスクラムハーフ (SH) 1名、スタンドオフ (SO) 1名、スリークォーター バック (TB) が2名で構成されるポジションニングが主流となっている。

セブンスの見どころ

広いフィールドを少ない人数でカバーするため、選手1人1人の走力、ハンド リングスキルが高くなければならない。15人制では一回プレーすると次の動きをするまでに時間の余裕があるが、7人制はパスしたらすぐにサポートするなど動き続けなければならない。15人制の激しい肉弾戦とは一線を画し、エキサイティングで流れるようなスピード感のあるプレーが見どころである。

セブンスの発祥

セブンス発祥の地、スコットランド南部のメルローズは、首都エディンバラからおよそ50キロ南東に位置する人口が2,000人に満たない小さな町である。周辺はスコティッシュ・ボーダーズと呼ばれるイングランドとの国境の北側の地域で、付近に点在する小村それぞれに強豪クラブが肩を並べる有名なラグビー熱狂地帯である。

メルローズの町の肉屋の店員ネッド・ハイグは、近在のチームを集めて日暮れまでの半日の間ラグビーの1チームの人数が20人から15人に減らされた1877年にセブンスの誕生の舞台となるメルローズRFCが誕生した。6年後の1883年、財政難のクラブを救うために、に大会を開こうと考え、そのために1チームの人数を7人に減らして得点の機会を増やすことや、ゲーム時間を1試合15分に短縮することを思いついた。

大会当日には1,600人の観客が集まり、目論みは成功した。これを機にセブンスはボーダー地方のクラブの間に次々と広まり、その波はやがて世界へ伝わった。



セブンズの特徴

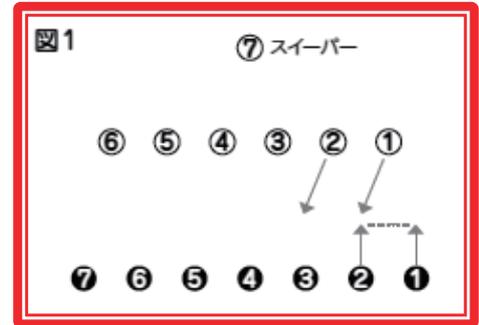
【基本】

図1のように、7人制のディフェンスでは、相手のキックに備えて一人（スーパー）が後ろに下がる。相手ゴールラインの直前まで攻め込んだときは別だが、一人が後ろにいて、7対6の状況になっているのが基本となる。

もしアタック側の右端の選手が左にパスをすれば、図の矢印のようにディフェンスがずれてくる。この時に逆にパスすれば、右に残っていた攻撃側の選手は容易にタッチライン際を抜け出す事ができる。この「切り返し」がアタックの基本的動きとなる。

もしスーパーが前に上がってくれば後ろにできたスペースにキックで大きくボールを送ることができる。

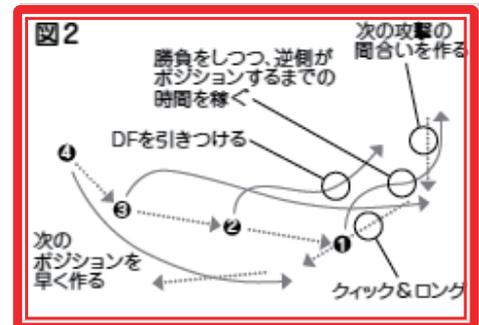
基本的にオフenseはこの考え方を利用する。



～オフenseスタイル～

【基本攻撃1-ふり戻し-】

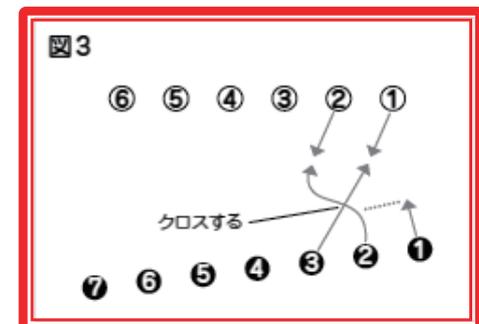
図2のように、④の選手からボールを回し、最後にボールを持った①の選手が右のタッチライン方向に走る。そこに②の選手がボールをショートパスでもらうように走り込むことでディフェンスラインはこの2人に引きつけられてディフェンス側から見て左に寄る。そこで深く位置した③、④の選手にパスを深く戻して逆に大きく左を攻める。そうすると、ディフェンスラインは付いてくることができなくなる。



【基本攻撃2-クロス-】

攻撃側の①が②にパスし、②と③がクロスすると図のように、ディフェンス側の①がアタック③に引きつけられて、アタック①の前にはスペースができる。ずれてくる相手を抜こうとすると、どうしても走るコースが流れてしまう。これを逆手にとって、わざと流れてクロスを入れる。日本代表のサインプレーは、これらの動きをミックスさせている。

②の選手が左に流れておいて、右にステップを切っても同じような攻めができる。



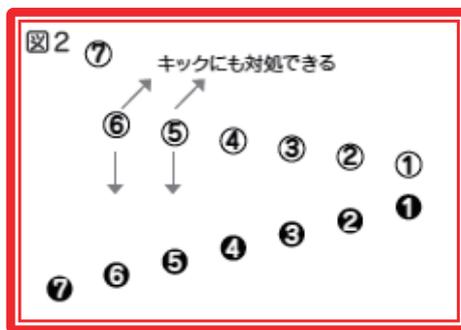
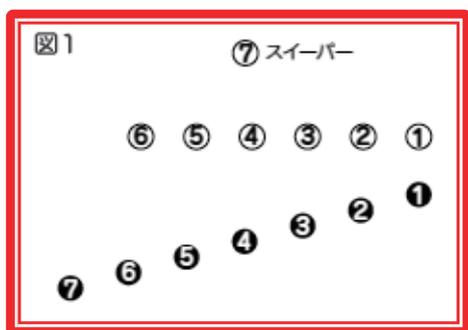


～ディフェンススタイル～

【基本DFスタイル】

図1のようにDFの基本フォーメーションは、相手のキックに備えて一人（スイーパー）が後ろに下がる。スイーパーにはキックの対処、抜け出してきた選手のコースを抑え、味方が戻ってくるのを待ちながら的確にタックルを決める役割がある。世界の多くのチームがこのフォーメーションを採用している。

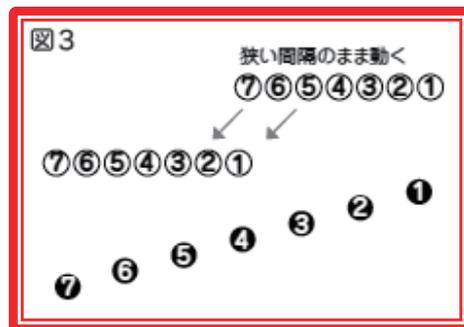
もう一つのスタイルとして、「バナナDF」がある（図2）。6人が斜めにラインを作り、ボール地点の逆側の選手⑦が後ろに下がる。背後にキックを蹴られた場合、下がり気味の⑤、⑥が相手の攻撃に対処できる。ただ、このDFは思い切って前に出られずに受け身になる。ラン攻撃、キック攻撃の両方に対処しようとするもので、シンビン（一時退場処分）で1人少なくなった時など、6人で守る場合に採用することが多いDF方法である。



【応用 能力に応じたDFスタイル】

DFの大前提は、一人が一人にタックルすることであり、個々人のタックルレンジを広くする、次に横の選手との連携でいかにレンジを広くするかを考える。そして、一カ所に集まらず、一人一人のエリアを守る 것이重要である。

個々のDF能力が相手より劣っている場合は、一人一人の間隔を狭くして対応する（図3）。DFラインはコンパクトなラインのまま動き続けなければならない、高い走力が必要となる。ボールを大きく展開された時に弱い、タックル後のボール争奪戦に味方選手がいち早く駆けつけることができる。





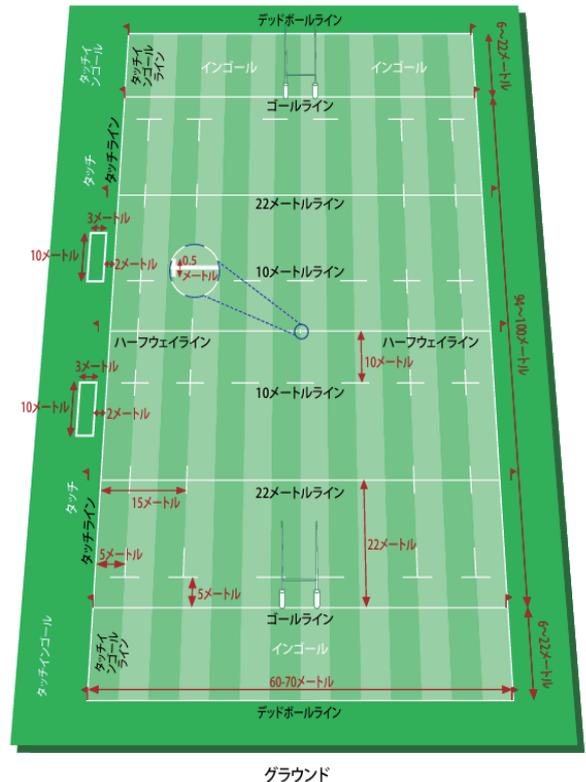
ラグビーフットボール競技の見どころ (少年男子15人制)

基本ルール

- ① 味方にボールをパスする場合、前方に投げてはならない。デッドボールラインに平行または後方にパスを出さなければならない。
- ② ボールを前方に送る場合は、ボールを蹴り込むか、持って走らなければならない。
- ③ タックルはボール保持者に対してのみ行うことができる。

得点方法

- ① トライ(T)…5点
相手側のインゴールにおいて、攻撃側の選手が最初にボールをグラウンディングすればトライとなる。ゴールラインはインゴールに含まれる。
- ② コンバージョン(G)…2点
トライをした側に与えられるゴールキック。トライが与えられた地点を通るタッチラインと平行な線上から行う。クロスバーの上、かつ、ゴールポストの間を通過すれば得点となる。プレースキックでもドロップキックでもよい。
- ③ ペナルティトライ(PT)…7点
相手チームによる不正なプレーが、トライが得られる、または、より有利な位置にて得られるのを妨げた場合、ゴールポストの中間に与えられる。原因となった反則を犯したプレーヤーは、注意を受けるか、一時的退出か退場とならなければならない。コンバージョンは行わない。
- ④ ペナルティゴール(PG)…3点
重い反則があった場合、相手側にはペナルティキックが与えられる。コンバージョン同様、キックしたボールがゴールポストの間を通過すると得点となる。プレースキックでもドロップキックでもよい。
- ⑤ ドロップゴール(DG)…3点
オープンプレーの中でボールをワンバウンドさせてキックを行うドロップキックからゴールすることでドロップゴールとなる。コンバージョン同様、キックしたボールがゴールポストの間を通過すると得点となる。



ポジション紹介



15のポジション *One for All, All for One.*

1人はみんなのために、みんなは1人のために

PR プロップ

スクラムの要で体重、筋力、押しのパワーは迫り満点。「チームの重量選手」

HO フッカー

スクラムに投入されたボールを足でかき出す。ラインアウトのスローワーも担う。

LO ロック

ラインアウトのジャンパー。FWの中心プレーヤー。前列3人をしっかり固める。

FL フランカー

縦横無尽の遊撃部隊。BKもサポートして走る「チーム一忙しい」ポジション。

No.8 ナンバーエイト

機動力、俊敏性、突進力を兼ね備えた攻防の中心となるマルチプレーヤー。FWの花形。

SH スクラムハーフ

FWとBKのパイプ役。スピード、判断力に優れ「体が小さくても活躍できる」戦略家。

SO スタンドオフ

BK攻撃の起点となる、冷静沈着な司令塔。状況判断力に優れたゲームメーカー。

CTB センター

攻防の要。突破力、強いタックルが要求される。敵陣深く進みウイングを生かす。

WTB ウィング

チーム最後足の「トライゲッター」。高い運動量と優れたステップワークでトライする。

FB フルバック

「チームの守護神」。ディフェンスの司令塔。高いキック力、ハンドリング能力。最後の砦。

ノーサイドの精神

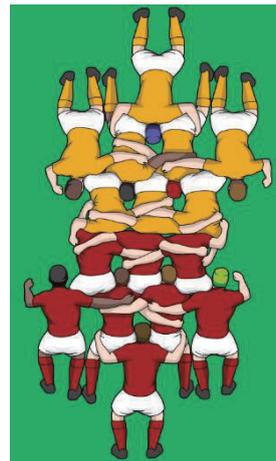
「ノーサイド」という言葉は試合終了を意味するラグビーならではの表現ですが、単に試合終了という意味だけでなく、ベストを尽くして激しくぶつかりあった両チームが、試合が終われば敵味方なくお互いの健闘をたたえ合い、ラグビーを愛する仲間になるという意味を持ちます。そして、同じフィールドで戦った仲間として友情を築こうというのが「ノーサイドの精神」です。これこそがラグビー選手の誇りとするところであり、この精神はラグーマンの最も大切な心と言われています。



基本プレー

スクラム

ノックオンやスローフォワード等の軽度の反則や競技の中断があった場合、ボール獲得のためのプレー再開する方法です。双方8名ずつのプレイヤーが右図のように組み合います。原則、反則をしていないチームがボールを投入します。



※19歳未満では・・・

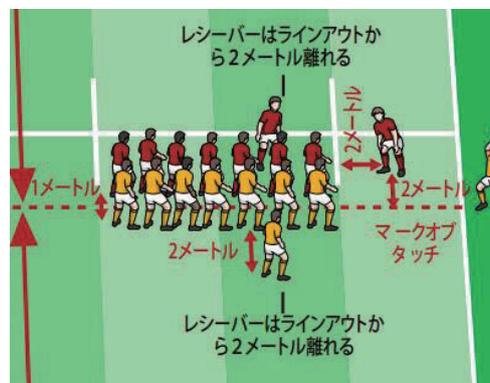
- ・故意でなく45度以上回転された場合、スクラムを組みなおします。組み直されるときは、その前のスクラムでボールを投入したチームが引き続き投入します。
- ・相手のゴールラインに向け、1.5m以上押しはいけません。(FK)
- ・ボールをかかどで蹴り操りながら、スクラムの中にとどめてはいけません。(FK)

ラインアウト

ボールまたはボールを持ったプレイヤーがタッチラインを越える、または触れた場合にラインアウトとなります。ラインアウトは右図のようにマークオブタッチ上で形成されます。マークオブタッチはゴールラインから5m以上離れていなければなりません。

ボールを投入する側はボールを投入するプレイヤーを除き、最低2名以上参加する必要があります。通常はフォワードの選手7名が並びます。

ペナルティからのタッチキックの場合は、ボールがタッチラインを越えたところでキックをした側のボールでラインアウトとなりますが、それ以外の場合は相手チームボールの投入によるラインアウトとなります。



ダイレクトタッチ

キックしたボールがダイレクトにタッチラインを越えることを指します。22mラインの内側からボールを蹴った場合、ボールがタッチラインを越えたところで相手側の投入によるラインアウトとなります。

22mラインの外側から蹴ったボールがダイレクトタッチだった場合は、ボールを蹴った地点からゴールラインと平行線上のボールが出た側のタッチラインで相手側の投入によるラインアウトとなります。

また、22mラインの外側にあったボールを22mライン内側に一度戻して蹴ったボールがダイレクトタッチになった場合も同様にボールを蹴った位置からの相手側の投入によるラインアウトとなります。

ペナルティキックから蹴った場合は蹴った位置に関わらず、タッチラインから出た地点での蹴った側のチームの投入によるラインアウトとなります。



50:22

自陣にいるプレイヤーが、ボールを蹴って相手陣の22メートル内で間接的(ワンバウンド以上させた後)にタッチになった場合、蹴り出したチームがボールを自陣に持ち込まなかったか、そのチームの自陣内でタックルが行われたかラックまたはモールが形成された場合は、蹴った側のチームによる投入でラインアウトが行われます。



ドロップアウト

<22メートルライン ドロップアウト>

ペナルティーゴールまたは、ドロップゴールの失敗、あるいはドロップアウトが防御側のチームによってインゴール内にグラウンディングされた場合、もしくは、これらの試みのいずれかによってボールがデッドになった場合、防御側の22メートル地点でのドロップアウトによってプレーが再開されます。

<ゴールライン ドロップアウト>

下記 a～c の場合、防御側のゴールライン上、またはその後方でのドロップアウトによってプレーが再開されます。

- a、攻撃側のプレーヤーによってボールがプレーされた、または、インゴールに持ち込まれ、その後、相手側のプレーヤーによってヘルドアップ(グラウンディングできない状態)となり、グラウンディングされた、あるいは、競技規則に反することなくデッドにされた。
- b、キックオフ、得点後の試合再開のキック、ドロップゴール、ドロップアウト、または、ペナルティキックを除く攻撃側のキックが、防御側のチームによって自陣のインゴール内でグラウンディングされた、または、デッドにされた。
- c、攻撃側のプレーヤーが、相手陣のインゴール内でノックオンした。

モール・ラック

双方のプレーヤーがボールを争奪する行為です。

モールとは、地面についていないボールを争奪することで、ボールを持ったプレーヤーと双方少なくとも1名ずつのプレーヤーが互いにバインドし、立ったままの状態になることで成立します。

ラックとは、地面にあるボールを争奪することで、双方少なくとも1名ずつのプレーヤーが立った状態で地面にあるボールに組み合うことで形成されます。

モール・ラックともに、成立後にそれぞれのチームに下図のようなオフサイドラインが形成されます。



モール



ラック

アンプレアブル

モール・ラックからボールがでない場合にレフリーの判断でアンプレアブルとなります。

その場合、スクラムによって再開されます。

ラックアンプレアブルの場合は最後に前進していたチームのボール、どちらのチームも前進していない場合は、攻撃側チームのボールでスクラムとなります。

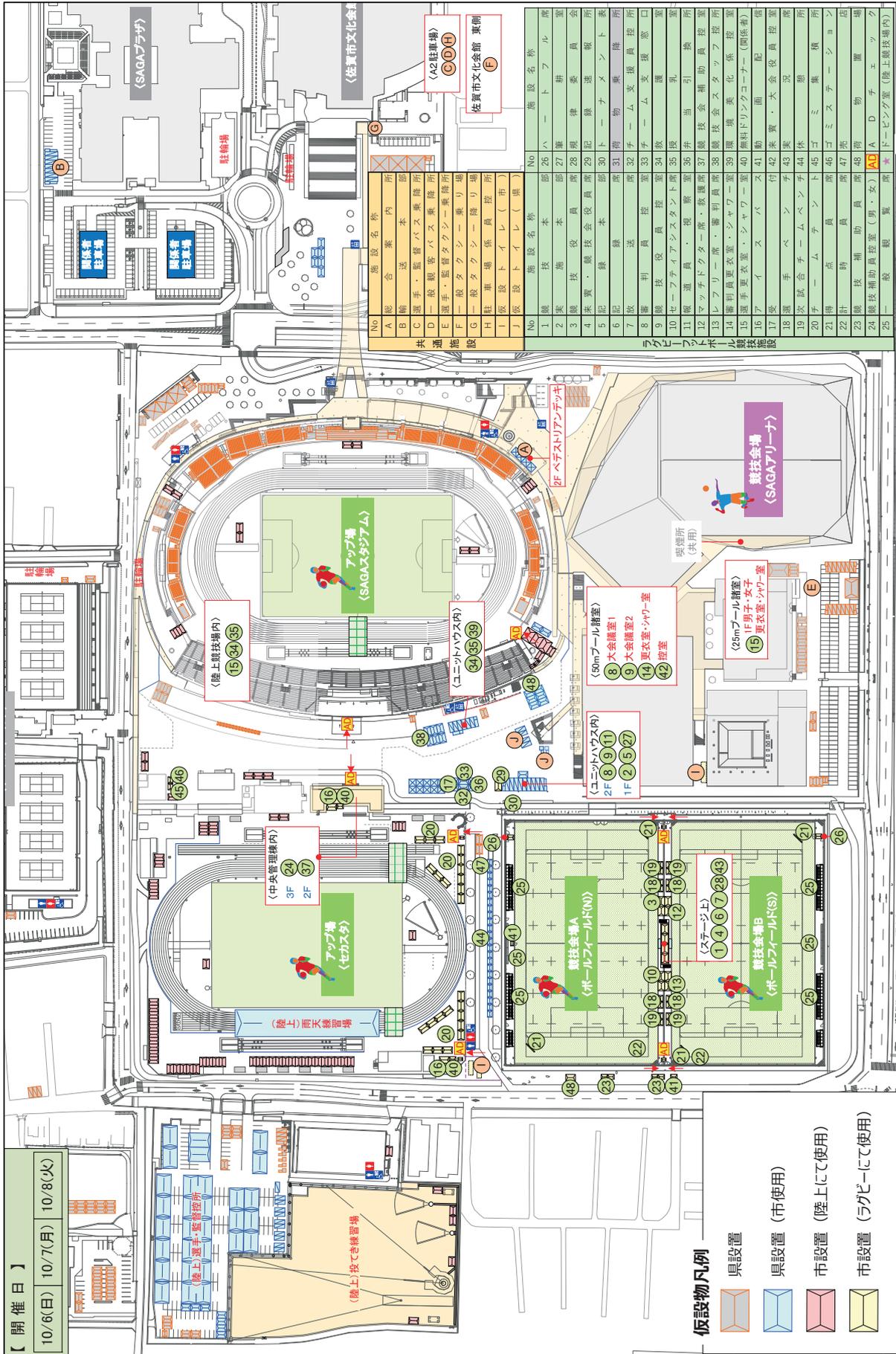
モールアンプレアブルの場合はモール開始時にボールを保持していなかった側のボールでスクラムとなります。

イエローカード(シン・ビン)とレッドカード

不正なプレー(妨害、不当なプレー、反則を繰り返す、危険なプレー、不行跡など)を行ったプレーヤーは、注意を受けるか、一時的退出、または、退場となる。レフリーは注意を与えて※10分間の一時的退場を命じたプレーヤーに対し、イエローカードを示します(シン・ビン)。退場の場合はレッドカードを示し、退場を命じます。 ※国スポ(少年男子 15 人制)では7分間とします。



競技会場案内図

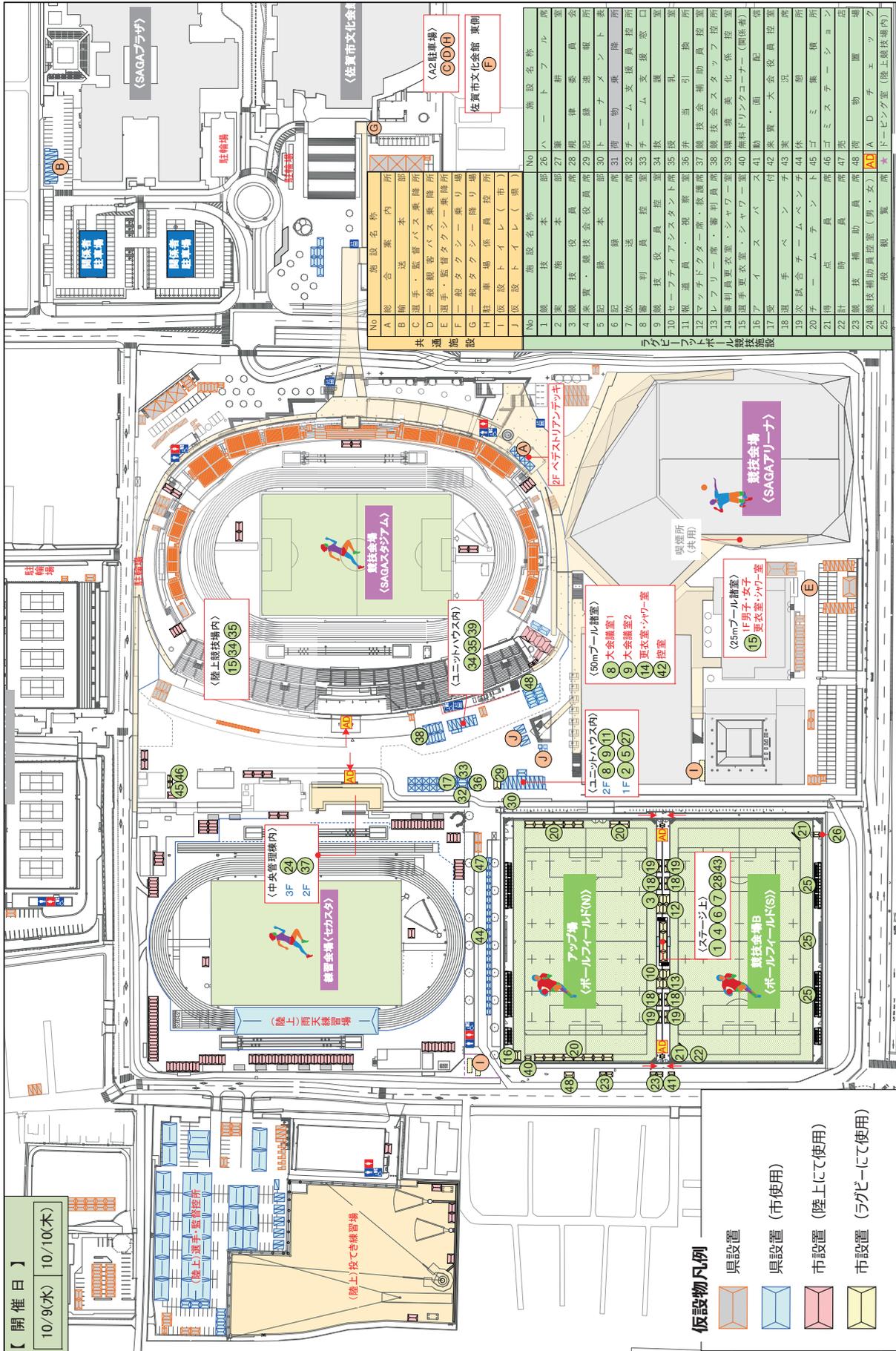


【開催日】
10/6(日) 10/7(月) 10/8(火)

- 仮設物凡例**
- 器具設置
 - 器具設置 (市使用)
 - 市設置 (陸上にて使用)
 - 市設置 (ラグビーにて使用)

No	施設名称	施設名称	No	施設名称	
A	総合案内所	1	観技本部	26	ハートフル部室
B	選手・監督バス乗降所	2	観技本部	27	ハートフル部室
C	選手・監督バス乗降所	3	観技本部	28	ハートフル部室
D	一般観客バス乗降所	4	観技本部	29	ハートフル部室
E	選手・監督タクシー乗降所	5	観技本部	30	ハートフル部室
F	一般タクシー乗降所	6	観技本部	31	ハートフル部室
G	一般タクシー乗降所	7	観技本部	32	ハートフル部室
H	駐車場係員乗降所	8	観技本部	33	ハートフル部室
I	仮設トイレ(市)	9	観技本部	34	ハートフル部室
J	仮設トイレ(県)	10	観技本部	35	ハートフル部室
		11	観技本部	36	ハートフル部室
		12	観技本部	37	ハートフル部室
		13	観技本部	38	ハートフル部室
		14	観技本部	39	ハートフル部室
		15	観技本部	40	ハートフル部室
		16	観技本部	41	ハートフル部室
		17	観技本部	42	ハートフル部室
		18	観技本部	43	ハートフル部室
		19	観技本部	44	ハートフル部室
		20	観技本部	45	ハートフル部室
		21	観技本部	46	ハートフル部室
		22	観技本部	47	ハートフル部室
		23	観技本部	48	ハートフル部室
		24	観技本部	49	ハートフル部室
		25	観技本部	50	ハートフル部室

SAGA 2024 全開スガ 新しい大会へ、すべての人に、スポーツのチカラを。	競技名	第78回国民スポーツ大会SSP開催競技【会期中1】 会場配置計画(SSP Rugby)	縮尺	S=1/2000(A3)
	図面名		修正日	2024/08/20



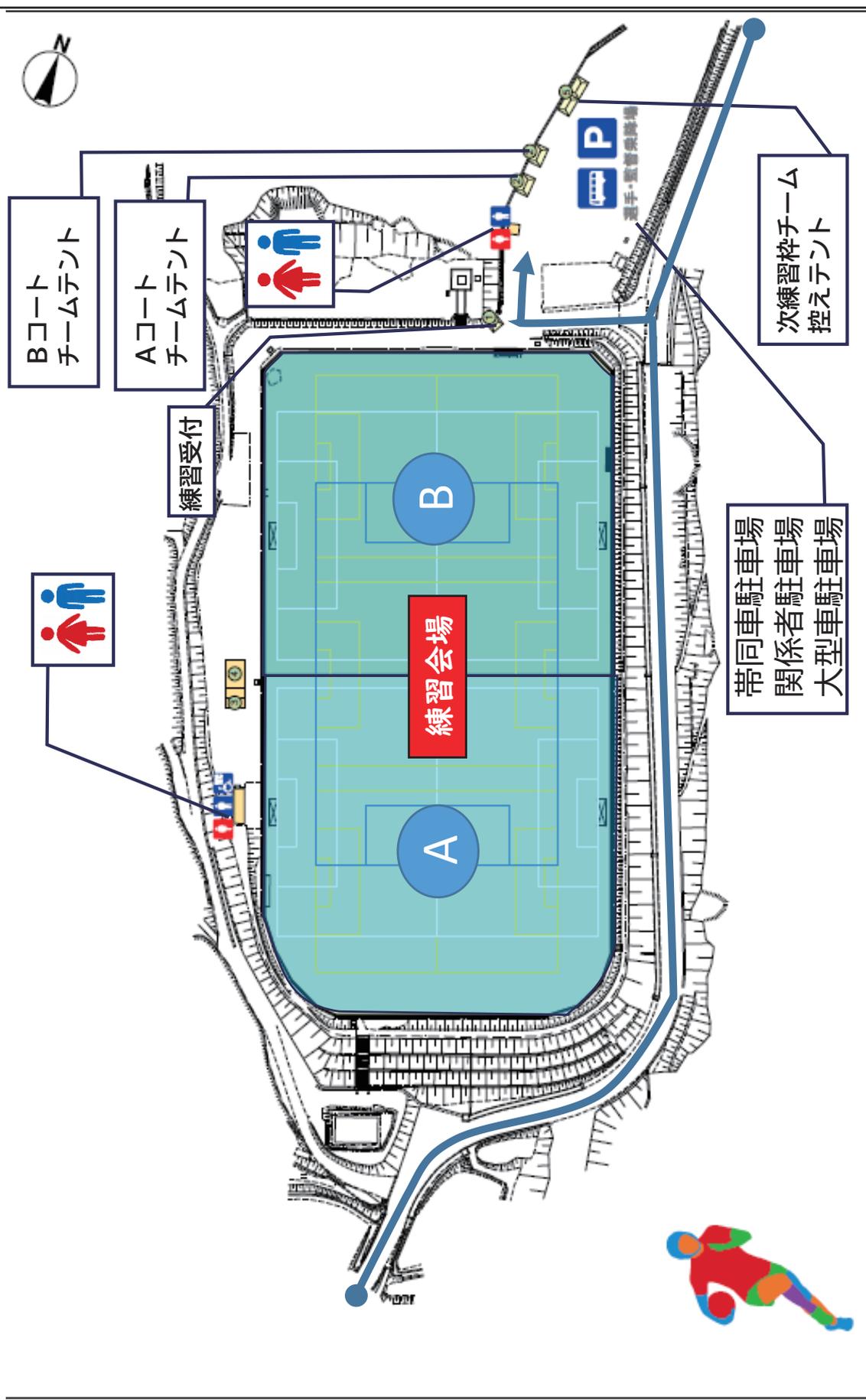
【開催日】 10/9(水) 10/10(木)	競技名 第78回国民スポーツ大会SSP開催競技【会期中1】 会場配置計画(SSP Rugby)	縮尺 S=1/2000(A3)	修正日 2024/08/20


SAGA 2024 国スボ
 全開スボ
 新しい大会へ、すべての人に、スポーツのチカラを。

SAGA2024 佐賀市実行委員会

No	施設名称	施設名称	No	施設名称
A	総合案内所	大会本部	26	大会本部
B	選手・監督バス乗降所	大会本部	27	大会本部
C	選手・監督バス乗降所	大会本部	28	大会本部
D	一般観客バス乗降所	大会本部	29	大会本部
E	選手・監督タクシー乗降所	大会本部	30	大会本部
F	一般タクシー乗降所	大会本部	31	大会本部
G	一般タクシー乗降所	大会本部	32	大会本部
H	駐車場係員控所	大会本部	33	大会本部
I	仮設トイレ(市)	大会本部	34	大会本部
J	仮設トイレ(県)	大会本部	35	大会本部
No	施設名称	施設名称	No	施設名称
1	観技本部	観技本部	16	観技本部
2	観技本部	観技本部	17	観技本部
3	観技本部	観技本部	18	観技本部
4	観技本部	観技本部	19	観技本部
5	観技本部	観技本部	20	観技本部
6	観技本部	観技本部	21	観技本部
7	観技本部	観技本部	22	観技本部
8	観技本部	観技本部	23	観技本部
9	観技本部	観技本部	24	観技本部
10	観技本部	観技本部	25	観技本部
11	観技本部	観技本部		
12	観技本部	観技本部		
13	観技本部	観技本部		
14	観技本部	観技本部		
15	観技本部	観技本部		
16	観技本部	観技本部		
17	観技本部	観技本部		
18	観技本部	観技本部		
19	観技本部	観技本部		
20	観技本部	観技本部		
21	観技本部	観技本部		
22	観技本部	観技本部		
23	観技本部	観技本部		
24	観技本部	観技本部		
25	観技本部	観技本部		

② 富士山村広場グラウンド





③ 佐賀県立佐賀工業高等学校





競技会場・練習会場案内

競技会場・練習会場の位置については、以下のQRコードをお読み取りください
読み取りを行いますとGoogleMapが表示されますのでご注意ください

競技会場

SAGAサンライズパーク ボールフィールド

〒849-0923
佐賀県佐賀市日の出2丁目1-10



練習会場

佐賀市健康運動センター サッカー・ラグビー場

〒849-0917
佐賀県佐賀市高木瀬町長瀬2553



練習会場

佐賀県立佐賀工業高等学校

〒840-0841
佐賀県佐賀市緑小路1-1



練習会場

山村広場グラウンド

〒840-0541
佐賀県佐賀市富士町大字関屋2120番地4





SAGA 2024 国スポ
ラグビーフットボール競技会
全試合の実況・解説を実施します！！



大会期間中の競技日程
はこちら！！



10/6(日)～10/10(木)
サガサンライズパーク
ボールフィールド南面
の試合の視聴はこちら



10/7(月)～10/8(火)
サガサンライズパーク
ボールフィールド北面
の試合の視聴はこちら



【実況・解説を聞く方法】

- ①ご自身のスマートフォン等で、実況・解説を聞きたい試合のQRコードを上から選択して読み取る。
- ②聴取用ホームページが開くので、そのページの開始ボタンを押して利用開始！！

※実況・解説は音声配信となります。無料でどなたでも簡単にご利用いただけます。本サービスは無料ですが、通信費は別途必要です。LTEによる通信量の目安として1時間の聴取で0.04ギガバイト程度利用します。



関係機関連絡先（佐賀市）

名称	所在地	電話番号
SAGA2024 佐賀市実行委員会事務局	佐賀市松原1丁目3-5 まるなかビル4階	0952-40-7362

〈競技会場〉

名称	所在地	電話番号
SAGAサンライズパーク ボールフィールド	佐賀市日ノ出二丁目1番10号	0952-32-4070

〈公式ホームページ〉

名称	URL	QRコード
SAGA2024 国スポ・全障スポ 【佐賀市公式サイト】	https://sagacity2024.com/	

〈医療機関〉

名称	URL	QRコード
医療情報ネット（ナビイ）	https://www.iryuu.teikyouseido.mhlw.go.jp/znk-web/juminkanja/S2300/initialize	

〈配宿・弁当・輸送〉

名称	所在地	電話番号
SAGA2024国スポ 配宿センター	〒840-0825 佐賀市中央本町1-10 ニュー寺元ビル2階	0952-41-1601
SAGA2024国スポ・全障 スポお弁当受付デスク		0952-20-8027
SAGA2024国スポ 輸送センター		0952-41-1602



NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント（暴力、暴言、ハラスメントなど）に、
みんなが『NO！』と言う社会を目指して

『スポハラ（スポーツ・ハラスメント）』とは？

「スポハラ（スポーツ・ハラスメント）」とは、スポーツの現場において、「暴力」、「暴言」、
「ハラスメント」、「差別」など“安全・安心にスポーツを楽しむことを害する行為”のことです。

指導者と指導を受ける者との関係のみならず、スポーツの現場における関係者の誰によっても、
また誰に対してであっても、スポハラは起こりえます。



Japanese
Olympic
Committee



UNIVAS



この活動は、スポーツ振興助成金を受けて実施しています



『スポハラ』 根絶に向けた取組み



JSPO

Japan Sport Association

NO! スポハラ

スポーツ・ハラスメント

(暴力・暴言・ハラスメントなど)に、

みんなが『NO!』と言う社会を目指して



ぼうりよくこういとうそうだんまどぐち スポーツにおける暴力行為等相談窓口

相談員



りようかのう
どなたでもご利用可能!

きがる そうだん
お気軽にご相談ください

スポーツにおける暴力行為等根絶宣言・
スポーツ・インテグリティ確保に関する協力覚書»



JSPO事業についてはこちら»»»JSPO事業概要パンフレット「スポーツと、望む未来へ。」





『スポハラ』根絶に向けた取り組み



JSPPO

Japan Sport Association

グッドコーチとして適切に対応するための動画・ワークブックの公開

グッドコーチを目指して

グッドコーチなら？

バッドコーチなら？



ケーススタディから考える

ケーススタディから考える
グッドコーチング

Workbook

SPORT
JAPAN OFFICIAL LICENSEE

JSPPO グッドコーチ



スポーツ現場におけるハラスメント防止動画の公開

暴力

差別

セクシュアル
ハラスメント

JSPPO ハラスメント防止



パワーハラスメント

暴言

性的マイノリティを取り巻く問題

「NO！スポハラ」活動に関する各種広報資料・動画の公開

＜過去開催した研修会等の動画公開＞



＜ポスター・ロゴ等広報ツール＞



「NO！スポハラ」活動特設サイトにて公開中！



アスリートの盗撮、 写真・動画の悪用、 悪質なSNS投稿は 卑劣な行為です。

スポーツは、子供から大人まで誰もが楽しめるものです。そのためにも安心してスポーツに取り組める環境を守っていく必要があります。盗撮はもちろん、アスリートの写真・動画を使用した性的目的のSNS投稿やWEB掲載は、アスリート、更には多くのファン、家族、関係者を傷つける絶対に許されない卑劣な行為です。すべてのアスリートが競技に集中し、スポーツを心から楽しめる環境を守るため、スポーツ界全体でこの問題に取り組みます。

- ▶ 大会における盗撮防止事例を共有し、各大会での防止策の取り組みを後押しします。
- ▶ 研修等を通じ、アスリート自身がネットやSNSで身を守る必要性を啓発していきます。
- ▶ SNS投稿やWEB掲載の実態把握に努め、関係機関に共有していきます。

この問題を解決するには皆様のご理解が欠かせません。

これからも安心してスポーツができる環境を守るために、ご理解ご協力をお願いいたします。

安全な環境を、すべてのスポーツ愛好者のために。 SAVE ATHLETES, SAVE SPORT.

大会会場で盗撮等が疑われる行為を見かけましたら大会主催者にお知らせください。

アスリートを傷つける性的目的のSNS投稿やWEB掲載を見かけましたら下記サイトよりご連絡ください。今後の対応に活用するとともに、悪質な事例については当局への通報も検討します。

<https://www.joc.or.jp/about/savesport/>



- ▶ 盗撮は迷惑防止条例で犯罪として処罰される可能性があります。
- ▶ SNS等で本人の名誉を傷つける書き込みは犯罪(名誉毀損罪)として処罰される可能性があります。
- ▶ 匿名による投稿であっても、法的手続きにより、投稿者が特定され、損害賠償請求の対象になる可能性があります。

公益財団法人 日本オリンピック委員会 公益財団法人 日本スポーツ協会 公益財団法人 日本障がい者スポーツ協会 一般社団法人 大学スポーツ協会
公益財団法人 全国高等学校体育連盟 公益財団法人 日本中学校体育連盟 独立行政法人 日本スポーツ振興センター



挑戦者たちは越えようとする。
 記録を。ライバルを。自分自身を。
 過去の常識も。世界の価値観さえも。
 挑戦者たちこそあたらしい未来への原動力だ。
 これまでも、そしてこれからも、
 わたしたちは挑戦する人たちを応援します。
 スポーツの持つ様々な可能性で、
 望む未来へたどり着くために。



スポーツと、望む未来へ。

わたしたちは、JAPAN GAMES を応援しています。





勝利を超える価値がある

私たちは信じる。

正々堂々と競いあう潔さを。

相手をリスペクトすることで生まれる友情や感動を。

まっすぐ挑戦しつづける、そこに、

自分や、仲間や、社会さえ変える力があることを。

さあ、すべては、私たちの中にある

フェアネスの心からはじまる。

スポーツのフェアネスが、社会のフェアネスを支えるために。



公益財団法人 日本アンチ・ドーピング機構

SAGA 2024 国ス ポ 会場地

全障ス ポ



玄海町

- 相撲

大町町

- 銃剣道
- ▲ ウォーキング



小城市

- バレーボール
- ハンドボール
- ソフトボール
- ◆ バレーボール 精神

伊万里市

- 水泳(オープンウォータースイミング)
- ホッケー
- バレーボール(ビーチバレーボール)
- 軟式野球
- ◆ フライングディスク 身体 知的

基山町

- 卓球
 - パワーリフティング
 - ▲ 草スキー
 - ◆ 卓球 身体 知的 精神
 - 卓球バレー
- ※サウンドテーブルテニスを含む

多久市

- 弓道
- スポーツクライミング

江北町

- ソフトボール
- ▲ 3B体操

有田町

- ウェイトリフティング
- 軟式野球
- ▲ 血かぶり競走

唐津市

- バasketボール
- セーリング
- ソフトテニス
- 軟式野球
- バドミントン
- トライアスロン
- 綱引
- ▲ スケートボード
- ▲ 滝登り
- ▲ ユニカール
- ◆ バasketボール 知的
- ◆ 車いすバスケ 身体
- パラサーフィン

嬉野市

- レスリング
- 軟式野球
- なぎなた
- 武術太極拳
- ▲ スポーツチャンバラ
- ◆ ボッチャ 身体
- 電動車椅子サッカー

鹿島市

- 軟式野球
- アーチェリー
- グラウンド・ゴルフ
- ▲ さわやかグラウンド・ゴルフ
- ▲ バグダー
- ◆ アーチェリー 身体

太良町

- ソフトボール
- ▲ マリンスポーツ
- ◆ ソフトボール 知的

白石町

- ソフトボール
- ▲ ソフトバレーボール
- ◆ グランドソフトボール 身体

武雄市

- 自転車(トラックレース)
- 軟式野球
- ゴルフ
- エアロビック
- ▲ スポーツウエルネス吹矢
- ▲ チャレンジ・ザ・ゲーム
- スポーツウエルネス吹矢
- 陸上競技
- 水泳
- (競泳、飛込、水球、アーティスティックスイミング)
- サッカー
- テニス
- ローイング
- バレーボール
- 体操(競技、新体操、トランポリン)
- フェンシング
- 柔道
- ライフル射撃(25m)
- ラグビーフットボール
- カヌー(スプリント)
- クレー射撃
- ボウリング
- ▼ 高等学校野球(硬式)
- バウンドテニス
- 合気道
- ▲ スカットボール
- ▲ パークゴルフ
- ▲ ピリヤード
- ▲ ラダーゲッター
- ▲ ロープ・ジャンプ・X
- ◆ 陸上競技 身体 知的
- ◆ 水泳 身体 知的
- ◆ ボウリング 知的
- ◆ バレーボール 身体
- ウォーキングフットボール
- ソーシャルフットボール

佐賀市

吉野ヶ里町

- バレーボール
- ハンドボール
- ▲ アジャタ

鳥栖市

- サッカー
- バレーボール
- 空手道
- ▼ 高等学校野球(軟式)
- ゲートボール
- ▲ 室内ベタンク
- ▲ スポGOMI
- ▲ ラージボール卓球
- ◆ バレーボール 知的
- ◆ サッカー 知的

上峰町

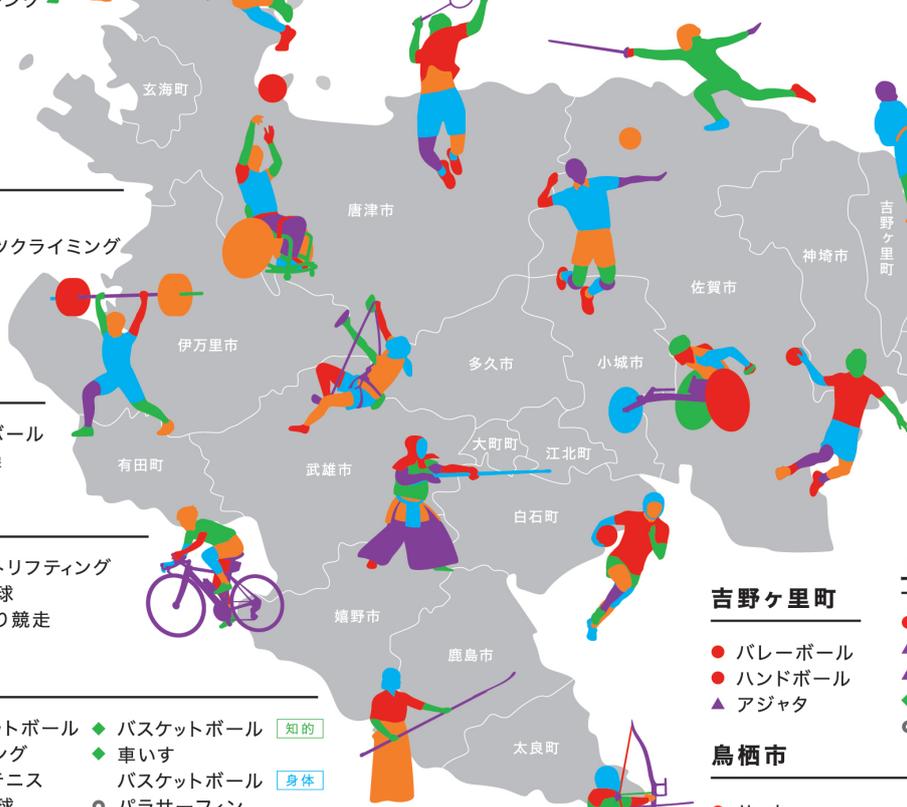
- ソフトボール
- ▲ クップ
- ▲ シャッフルボード
- ◆ フットソフトボール 知的
- ふうせんバレーボール

神埼市

- ハンドボール
- 剣道
- ▲ いごでだま
- ▲ フライングディスク
- ブラインドテニス

みやき町

- バレーボール
- ソフトボール



- 国スボ 正式競技
- ▲ 国スボ デモンstrationsスポーツ
- ▼ 国スボ 特別競技
- ◆ 全障スボ 正式競技
- 国スボ 公開競技
- 全障スボ オープン競技

県外開催

- 自転車…… 大分県日田市(ロードレース)
- ライフル射撃…… 大分県由布市(50m、10m、ビームライフル、ビームピストル)
- 馬術…… 兵庫県三木市
- カヌー(スラローム、ワイルドウォーター)…… 鹿児島県湧水町



